
鳥羽小学校用地選定市民会議
デザイン及びコーディネート

平成18年 3月 31日

報 告 書

【事業目標】

～～**今度こそ**、こどもたちの未来、鳥羽の未来のしあわせのために

ふさわしい、鳥羽小学校建設用地を、再選定しよう～

【企画・進行管理】

NPO法人伊勢志摩NPOネットワークの会

会長 中村 元

担当 協働推進部会 部長 川村 透

■INDEX

【事業目的】 「行政、市民、NPO、共通の、**新しい目的を持って**」

【基本方針】 「約束と基本方針」

【対象】 「パートナーとオブザーバー」

【事業の構成】 「協働型会議の構成」

【運営体制】 「協働型会議の運営」

【協働型会議企画上の重要な留意点 その①】 「透明性と公開性の確保」

【協働型会議企画上の重要な留意点 その②】 「ルール／プロセス重視」

【協働型会議企画上の重要な留意点 その③】 「議論の大前提」

【結論】 「**堅神地区(堅神公民館の裏山の土地)**」を提案します

【事業の概要】 「議論のあらすじ」

【アドバイザー所見】 「鳥羽小学校用地選定市民会議の活動について」

【総括】 「協働のしくみ及び、ビジョンの未成熟が課題」

【資料編】 HP に UP したライブレポート

【資料編】 ニュースレター (別紙)

【資料編】 事項書等の基礎資料 (別紙)

【事業目的】「行政、市民、NPO、共通の、新しい目的を持って」

- ① 子どもたちの未来のために、しあわせのためにを第一に考えて、ふさわしい鳥羽小学校用地を選定する。(候補地をひとつにしぼる)
- ② 鳥羽のこれからのまちづくりとの整合性を考慮した上で用地を考える。特に観光のまちづくりへの影響に留意する。
- ③ できる限り、早期実現を目指しうる用地としたい。けれども、市民会議において十分納得のいく議論を積み重ね、必要なプロセスであればあえて「急がば回れ」も辞さない。

(前回の用地選定懇話会において、まちづくりとの整合性についての議論は、鳥羽市が別の機会を設けるということを条件に、教育委員会の持つ将来の教育環境(学校統廃合含む)ビジョンを前提とした「整合性」に限定することとしたが、結果として市長への申し入れ書が上程された後に、新市長への引継ぎを背景に、教育環境という視点だけでは鳥羽小学校の用地は選定できないことが判明し、小浜案を断念した経緯を踏まえ、今回はあえて議論の間口を広げる事とした。)

- ④ 市民、行政、企業、が信頼関係を深め、協働のスタンスや仕組みが鳥羽にいきづくようなプロセスをともに創ってゆく。

(上記は、NPO 法人伊勢志摩 NPO ネットワークの会のミッションを表現している。前回の用地選定懇話会に続き、本事業は、ただの業務委託ではなく、鳥羽市とわれわれが、同じ目的を共有している対等なパートナーとして、資源を持ち寄り、役割を分担し、目標を明確にして取り組む「協働」事業なのである)

【基本方針】 「約束と基本方針」

■ 鳥羽市から当会議メンバーへの約束

- ① ここが正式な市民と行政との協働の場です。
- ② 鳥羽市は、ここで決ったことを最優先で取り上げます。

■ 鳥羽小学校用地選定市民会議の基本方針(市長も例外ではありません)

- ① ここでみんなで決めたことは、みんなで後押ししよう。自分の意見とは違う結果になったとしても会議で決めたことは尊重しよう。
- ② 致命的な問題がおこる前に、みんなでこの場に情報を持ち寄って、この場で解決しよう。

【対象】 「パートナーとオブザーバー」

鳥羽小学校用地選定市民会議委員、同会議オブザーバー、鳥羽市民、鳥羽市職員

【事業の構成】 「協働型会議の構成」

オリエンテーション	1回
鳥羽小学校用地選定懇話会 協働型会議(ワークショップ)企画進行	7回
同上幹事及実務者協働型会議(ワークショップ) 企画進行	6回
提案者ヒヤリング	1回

※ワークショップ=参加者が、討論したり現場を見たりするなどの協働作業を通じて、前向きな意欲を引き出し、お互いの考えや立場の違いを学びあいながら、提案などをまとめる手法であり、その集まり(場)のこと。以下 WS と略記する。

【運営体制】 「協働型会議の運営」

- ① 鳥羽市役所 **教育委員会** を事務局とする。
- ② **鳥羽市長及び教育長も市民会議の出席義務者**とする。ただし、特に政策の最終的な決定権を持つ市長の場合、フラットな協働型会議の場では、もし恣意的な参加者が強引に発言を強要する場合を考えるとむしろ、弱者となる。よって中立のファシリテーターとアドバイザーによってその立場を保護する必要があるため、原則としてオブザーバーであるということとした。
- ③ NPO 法人伊勢志摩 NPO ネットワークの会 川村 透をファシリテーターとする。
- ④ 同上 森本かおりをレコーダーとする。
- ④ 同上 その他メンバーを、会議運営のボランティアスタッフとする。
- ⑥ 三重大学 助教授 浅野 聡 氏をアドバイザーとする。
- ⑦ HP による情報公開、市民コメント受付、ブログ運営担当を 川村 透とする
- ⑧ 鳥羽市役所 教育委員会は、暫定的に、鳥羽小学校建設事業が決定した場合に関連があると想定された、鳥羽市役所内各課の実務者を横断的に、必要に応じて収集し、(教育委員会、まちづくり課、財政、企画、建設課(建築及び土木)など)、川村 透をファシリテーターとして、実務者 WSを開くものとしたが、前回の用地選定懇話会においては、

実務者 WS の目的は、鳥羽小学校にふさわしい用地を選定するとき、主語を教育委員会は、ではなく「鳥羽市は」と言えるようにする、少なくとも会議のプロセスにおいてその状態に限りなく近づけ、議論の前提が崩れないようにすること、である。

のような目的で随時実務者 WS を開催したが、今回は、市長の「対話を重んずる」スタンスによって、前回よりも鳥羽市役所内に横断的に議論を喚起する機運が高まり、結果として、WS を開く必要は生じなかった。

⑨ 本市民会議委員の中から、**座長と副座長**を推薦し、オリエンテーションにおいて**参加者の合意のもと**以下のように決定した。座長は市民会議を代表する「顔」の役目を果たすが、参加者同士は平等な市民であるというスタンスから、基本的にはやむを得ない場合を除き「単純多数決」による意思決定はしない、ゆえに、**最終局面での特別な議決権などの権限はもたないもの**とした。また、当事者である PTA の皆さんを中心に、**幹事会を構成し**、各市民会議の前に、教育委員会と NPO の会スタッフを交えて調整を取ることで、**より目的にかなった合意形成を計ること**とした。

座長、大松正嗣さん、副座長 中村 勝さん 遠藤さん
幹事は、村瀬さん、河村さん、吉水さん、出口さん、片岡さん

※**ファシリテーター**=公正、中立の立場で議論を活性化させ、目的からずれることなく成果を出しやすくする進行役、議論の水先案内人。

※**レコーダー**=協働型会議において、議論の進行に合わせ、その要点を、壁に張った模造紙にわかりやすく記録し、参加者が会議の内容を共有しやすくする役目。

【協働型会議企画上の重要な留意点 その①】 「透明性と公開性の確保」

鳥羽小学校用地選定市民会議は、今までの審議会形式のように、限られた委員だけの議論に終始しないように以下の通り出来る限りの**公開性と公平性を担保**した。

ただし委員選定にあたっては、5年にもわたる**鳥羽小学校建設の経緯を理解**した上で議論を開始する必要性、それから、**責任ある議論を展開**するという見地から関係各位に相談し、まちづくり、特に観光のまちづくりとの整合性を計る意味から観光関係の方も委員として入っていただくなど、アドバイザーの意見をもらった上で**委員メンバーを鳥羽市教育委員会**が選んだ。

1. 検討する鳥羽小学校用地案は、**広報とば**にて一定の期限を設けた上での**再度の「公募」**とし、期間内に責任ある提案がなされた用地案を検討対象とした。もちろん**提案企業**の皆さんにも、開催を案内し、**自由にオブザーブ**できる、**ガラス張りの会議**とした。
2. 中立の市民セクターが、会議の進行役となる、**WS 形式**とした。
3. **ファシリテーター**(進行役)が恣意的な誘導を行わないように、**有識者のアドバイザー**(三重大学 助教授 浅野 聡 先生)を置き、WS の信頼性、**中立性を担保**した。
4. 市民会議は**すべて市民公開**の WS とした。
5. 途中経過を**ライブレポート**として**随時 HP に公開**するとともに、**鳥羽市教育委員会の公式 HP で主要な会議資料はすべて閲覧**できるように工夫した。

6. 用地選定の会議は、前回用地選定懇話会のふさわしさの指標を数値化して評価する手法をベースとしながら、人間臭い対話、委員会形式による自由討論の場も設けることとした。委員各位が「恣意的」「覇権的」なふるまいをすること、あるいは外部からの「恣意的」「覇権的」な利害誘導による「政治的単純多数決」の弊害から守られるように工夫するとともに、各個人の感性や価値観のすり合わせを「異文化交流」として丁寧に調整することに努めた。
7. 途中経過及び市長への提言を広報誌に掲載し広く情報公開につとめた。

【協働型会議企画上の重要な留意点 その②】「ルール／プロセス重視」

■ ルールとプログラム、指標で客観的に評価

協働型会議は、公正なルールによって運営されるべきである。ひとりひとはフラットな関係で、真剣に成果を出すことにコミットしなければならないが、同時に「楽しく」「有意義」に、心から、身体ごと参加できるように、細心をこめた「参加のデザイン」を心がけた。

参加者同士は平等な市民であるというスタンスから、基本的にはやむを得ない場合を除き「単純多数決」による意思決定はしない。代わりに、各会議の目標を明確化し、合意に至るプロセスと手法=プログラムを明らかにし、指標=ものさしによる数値的な評価手法により合理的で客観的な「合意」を創造するとともに人間臭い対話、委員会形式による自由討論の場も設けることとした。

■ プロセス重視のスタンス

協働型会議は、プロセスがすべて、である。結果はむしろ、「従」である。参加者ひとりひとり異なった価値観のせめぎあいの中から、一步一步「成果」を築き上げる過程=プロセスこそが本質である。

■ WSって何？

1. WSは会議なんです
2. みんなが対等です
3. 楽しく有意義に参加しやすく工夫されている会議なんです
4. ファシリテーター（中立、議論の水先案内人）が進行します
5. 目的を決めて一步一步進んで行き後戻りをしません。

■ WSのルール（あたりまえのマナーを約束しよう）

1. 進行役(ファシリテーター)の指示に従ってください

2. 個人攻撃や、誹謗中傷をしないこと
3. 1 発言、1 分ルール
4. 参加者は対等の市民です。地位や立場、肩書きにとらわれすぎず参加しましょう
5. 他の参加者に肩書きを期待した発言を強要してはいけません。

【協働型会議企画上の重要な留意点 その③】「議論の大前提」

■ 現在敷地の取り扱い

現敷地において改築（建て替え）はありえない。旧校舎のリフォームはありえない。

■ 用地選定の対象

広報とばにて一定の期限を設けた上での再度の「公募」とし、期間内に責任ある提案がなされた用地案を検討対象とした。市長によって断念の決断が降りた「小浜」案は対象としないが、それ以外の旧懇話会で候補に上がった用地については、公募があれば検討の俎上に載せることとする。

【結論】「堅神地区(堅神公民館の裏山の土地)」を提案します

第五回市民会議において、四つの候補地に絞り込んだ時点で、これ以上の選定作業には、鳥羽の大きなまちづくりの方向性に関わる決断が必要なため、いったん鳥羽市に議論を預け、この用地を、この価値観を第一に考えて推薦する、という提案をいただき市民会議にて議論の上で決定することとしました。第六回市民会議では結論が出ませんが、第七回市民会議において以下のように結論が出ました。

■ 鳥羽市からの提案

鳥羽小学校(将来的に小浜小学校及び坂手小学校との統合を考える)に望ましいとした選定地区として、

堅神地区(堅神公民館の裏山の土地)を推薦します。

■ 市民会議からの提案

鳥羽市の提案を受け入れるための条件=ただしがき

ただし、すべての子どもたちが安心して通える状況をつくります。

そのために、スクールバス機能の実現を目指して議論をすすめていきます

そして、地域の方、PTAの皆さんを含めて具体的に検討してゆく場を設けます。

★出席委員 24 名中 19 人が、上記条件(スクールバス機能の実現を強く望む)で賛成しました。賛成多数で、鳥羽市からの提案(+市民会議からの提案した、ただしがき付)を受け入れるということを、本会議の公式の意志とすることが承認されました。

【事業の概要】 「議論のあらすじ」

■以下第五回市民会議までのあらすじを、提言書で示します。

平成 18 年 1 月 11 日
鳥羽市長 木田 久主一 様
鳥羽小学校用地選定市民会議
座長 大松 正嗣

提 言 書

木田市長から検討の依頼のありました鳥羽小学校建設用地の選定につきまして、「市民会議」における検討結果の概要と審議に使用した資料を添えて、下記の通り提言します。

記

1. 鳥羽小学校建設候補地の選定

鳥羽小学校(将来的に小浜小学校及び坂手小学校との統合を考える)
に望ましいとした選定地区

○日和山

○ドライブイン鳥羽の向側

○堅神地区(堅神公民館の裏山の土地)

○赤崎地区(赤崎神社の裏山の土地)

これまで、子どもたちの未来のために鳥羽小学校用地選定に取り組んできましたが、1 月 10 日の市民会議において、上記 4 つの候補地にまで絞り込んだ段階で、いずれを採用するにも、例えば「日和山を鳥羽の未来のためにどう活かすべきか」など、鳥羽市全体のまちづくりの方向性に関わる判断が要求されると認識しました。

そのため、鳥羽市から、「この価値観」を第一に考えて「この候補地」を採用したいという提案をいただき、市民会議に諮って決定するという形で、鳥羽市にゆだねることとします。ただし

1. 市民会議に、納得のいく鳥羽市の未来像を示していただくこと

2. 市民で決めた選定のためのガイドライン(ものさし)を出来る限り尊重していただくこと

1 安全な通学路が確保できる場所

2 地域の人が見守りやすく、安心できる場所

3 将来的の学校統合も考えた上でふさわしい場所

- 4 地震・津波の心配のない場所
- 5 汚染や騒音がなく、環境の良い場所
- 6 用地が広くとれるところ
- 7 地域の人々が活用しやすいところ

上記、1,2,3は最重要事項、以下は次に優先するべき事項、です。(市民会議10月12日におけるアンケート集計結果による)

- 3.そして市民会議において鳥羽市からの提案が了承された場合、委員は一丸となって市の決定をサポートすることとします。

2. 市民会議における選定経過の概要

□鳥羽小にふさわしい建設用地とは？

本市民会議は、PTA、ボランティアで創る鳥羽小建設実行委員会、小学校OB代表、自治会、観光協会、など市民の皆さんが委員となって、以下の目的を果たすためにNPO法人伊勢志摩NPOネットワークの会が進行役となり、三重大学の浅野先生をアドバイザーとして、市民と協働で創り上げる会議=WS(ワークショップ)形式で進めました。

- 1.子どもたちの未来のために、しあわせのためにを第一に考えて、ふさわしい鳥羽小学校用地を選定する。(候補地をひとつにしぼる)
- 2.鳥羽のこれからのまちづくりとの整合性を考慮した上で用地を考える。特に観光のまちづくりへの影響に留意する。
- 3.できる限り、早期実現を目指しうる用地としたい。けれども、市民会議において十分納得のいく議論を積み重ね、必要なプロセスであればあえて「急がば回れ」も辞さない。
- 4.市民、行政、企業、が信頼関係を深め、協働のスタンスや仕組みが鳥羽にいきづくようなプロセスをともに創ってゆく

鳥羽小学校PTAの皆さんの「ふさわしい用地をえらぶ物差しづくり」のWSと、旧懇話会での議論をもとに、公募期間に用地提供の申し出や提案があった8の土地(現敷地を除く、現校舎のリフォームを除く、以下の通り)を対象に議論を深めました。

1. 鳥羽一丁目 日和山
2. 鳥羽五丁目 若竹団地の南側山
3. 鳥羽一丁目 ドライブイン鳥羽の向側
4. 鳥羽三丁目 城山児童公園
5. 鳥羽一丁目 とば美台の裏山
6. 堅神町 堅神公民館横
7. 鳥羽五丁目 赤崎神社の裏山
8. 鳥羽一丁目 ドライブイン鳥羽の裏側

□1. ふたたび同じテーブルにつこう「オリエンテーション」平成17年9月29日

ボランティアで創る鳥羽小建設委員会の頃から、旧懇話会を経て、今までのいきさつを振り返り、目的を共有し、ここで議論されたことが正式に最優先で取り上げられると、約束をしました。

□2. 候補地を理解しよう「第一回市民会議」平成17年10月12日

第一回テーマ「候補地を理解しよう、実現性から、大きく Check しよう」では、鳥羽市としての選定基準、費用、期間、交渉性、地震津波、土壌などの安全性、合法性などと、市民としてのものさし、(安全に通学できる、広くてのびのびできる、地域の人が見守りやすいなど)に照らし合わせて各候補地の利点、課題、などを整理し、共有しました。また鳥羽小用地のふさわしさで最も重要視する決め手は何か、というアンケートを取り、PTA で議論されたものさしを市民会議として修正をしました。

□3. 候補地を大きく絞り込もう①「第二回市民会議」平成17年10月28日

各候補地を比較検討しました。主に城山と日和山のあり方に議論が集中しました。新たに日和山に埋蔵文化財の調査が必要という課題が浮上しました。結果としては「④城山児童公園」と「⑧ドライブイン鳥羽の裏側」は、学校建設用地の面積確保が困難であるという理由から、今回、候補地から外すということになりました。また、候補地を実際に歩いて各々の課題について深く考えようとの提案がされました。

□3-1. 候補地に行って実際に見てみよう「現地視察」平成17年11月7,9日(二回)

ただ漫然と見るのではなく、Check リストを手に、書き込みながら回りました。特に以下のことに十分意識を持って視察しました。

1. 学区の中で統合も考えて通学を考えて、良い位置にあるか？
2. 安全安心な通学路、進入路が確保できるのか？

□4. 候補地を大きく絞り込もう②「第三回市民会議」平成17年11月22日

現地を視察した成果をみんなで共有し、それを踏まえた上で、委員の方々の評価及び学校建設の実現性が他の候補地と比較して低かった「②若竹団地の南側」と「⑤とば美台の裏山」の2ヵ所は、今回で候補地から外すことになりました。また、埋蔵文化財としての調査が必要な用地として、「日和山」以外に「スカイライン」も対象区域に入ることがわかり、「赤崎」も簡易的に調査は必要との報告がされました。次回はそれを踏まえ、埋蔵文化財問題について勉強する機会を持つということになりました。

□5. 埋蔵文化財問題について理解を深めよう「第四回市民会議」平成17年12月7日

県教育委 文化財保護室から山田 猛 氏を講師としてお招きし、埋蔵文化財問題について学び、意識を高めました。後半は、今までの議論を踏まえ、自由な討論の機会をつくりました。

□5-1. 提案者ヒヤリング「ヒヤリング」平成18年1月6日

候補地として残った4箇所、日和山、スカイライン、堅神、赤崎、について提案者からのヒヤリングの機会を設けました。地権者との交渉、用地造成 通学路での安心・安全、子どもたちの未来へのメリット、等について提案者の考え方と事実関係についてヒヤリングを行いました。

□ 6. 四つの候補地を整理して

決め手は何か？を決めよう「第五回市民会議」平成18年1月10日

提案者とのヒヤリングの成果を共有して条件を整理しました。これまで、子どもたちの未来のために鳥羽小学校用地選定に取り組んできましたが、4つの候補地にまで絞り込んだ段階で、いずれを採用するにも、例えば「日和山を鳥羽の未来のためにどう活かすべきか」など、鳥羽市全体のまちづくりの方向性に関わる判断が要求されると認識しました。

そのため、鳥羽市から、「この価値観」を第一に考えて「この候補地」を採用したいという提案をいただき、市民会議に諮って決定するという形で、鳥羽市にゆだねることとします。

■ 以下第六回、七回市民会議のあらすじを示します。

□ 7. 鳥羽市から提案された候補地案を検討しよう「第六回市民会議」

平成 18 年 1 月 31 日

「赤崎、日和山、を候補地から外し、ドライブイン鳥羽の向側、堅神の 2 候補地で検討したい」という提案が鳥羽市から出されましたが、すっきりと合意するところまでは行かず、継続して検討をつづけていただき、次回もさらに詰めた鳥羽市からの検討の成果を聞こうという結果となりました。

□ 8. 鳥羽市からの提案を聞いて、子どもたちのために決断しよう「第七回市民会議」

平成 18 年 3 月 30 日

■ 鳥羽市からの提案

鳥羽小学校(将来的に小浜小学校及び坂手小学校との統合を考える)に望ましいとした選定地区として、

堅神地区(堅神公民館の裏山の土地)を推薦します。

■ 市民会議からの提案

鳥羽市の提案を受け入れるための条件=ただしがき

ただし、すべての子どもたちが安心して通える状況をつくります。

そのために、スクールバス機能の実現を目指して議論をすすめていきます

そして、地域の方、PTAの皆さんを含めて具体的に検討してゆく場を設けます。

★出席委員 24 名中 19 人が、上記条件(スクールバス機能の実現を強く望む)で賛成しました。賛成多数で、鳥羽市からの提案(+市民会議からの提案した、ただしがき付)を受け入れるということ、本会議の公式の意志とすることが承認されました。

【アドバイザー所見】 「鳥羽小学校用地選定市民会議の活動について」

アドバイザー 浅野 聡 (三重大学 助教授)

協働型まちづくりの会議で大切なことは、会議の位置づけ(目的など)が明確になっていること、参加者の協働によって進められるプロセスとなっていること、全体的に会議の

透明性や公開性が高いこと、などが上げられます。

鳥羽小学校用地選定市民会議においては、鳥羽小学校の敷地選定について検討を行うという目的が明確になっていること、参加している市民・NPO（NPO 法人伊勢志摩 NPO ネットワーク）・行政の協働によるプロセスとなっていること、毎回の会議が公開されていると共に議事録もホームページ上に掲載されていること、などから基本的な点はしっかりと押さえられて運営されてきています。

鳥羽市においては土地の制約があるために、広い面積を必要とする小学校の用地として豊富な選択肢があるわけではなく、どの用地を選定しても長短所があるのはやむを得ないことです。大切なことは、この会議の目的を再確認して、必ず明確に1つの用地案に絞り込むという結論を出すことです。

おかげさまで市民会議の場では、堅神を用地案にするという明確な結論を出すことが出来ました。昨年度の用地選定懇話会との違いの1つは、市長も第1回から継続して市民会議に出席されたことです。市民会議における討議を通して、市長と市民会議委員がより切実に課題を共有し、結論を出すことが出来たことは大きな成果といえます。

今後大切なのは、この用地案を正式な用地として実現させるためにも、市民会議委員も一丸となって市長や教育委員会に協力していくことです。市民会議委員には、PTA 関係者以外に市議会議員、学区内町内会代表者、観光関係者など、多くの関係者が参加していますので、全員で協力すれば大きな力になるはずです。

今回の市民会議では様々な用地案出されましたが、その多くは前年度の懇話会の時と重複しており、ほぼ同様の用地案が最後まで残る結果となりました。これは、土地の制約のある鳥羽においては、今後何度仕切り直ししたところでやはり同様の結論に行き着くであろうことを示唆しています。今回の用地案を逃せば、これ以上の代替案は出てこないでしょう。小さな意見の相違をのりこえて、子どもたちのためにも必ず新しい鳥羽小学校を実現していきましょう。

なお市民会議から付帯意見として出されたことは、引き続き市や教育委員会、市民会議のメンバー、その他の関係者の協働のもとで実現に向けて努力して下さい。

最後まで責任を持って取り組まれた市民会議委員、NPO 法人伊勢志摩 NPO ネットワーク、木田市長及び教育委員会の皆様に敬意を表したいと思います。

【総括】 「協働のしくみ及び、ビジョンの未成熟が課題」

協働推進部会 部長 川村 透

本事業をふりかえってみると、前回の用地選定懇話会の時以上に、時々刻々とタイムリミットに近づきつつある**時限爆弾を処理**していたように感じる。そして、**災害復旧**のためのボランティアセンターの運営をしていたかのように、思っても見なかった事態が明らかになってゆく。日和山の、埋蔵文化財問題など、それでも予防的に問題抽出が出来たことは進歩であったと言っていい。**緊急避難的に「これしかない」協働型意思決定の手法**を次から次へと繰り出すと同時に、前回で使ってしまった**客観評価の手法**をそのまま使えないというハンディをも背負ったのであるが、合理性のみに固執せず、あえて人間臭く「デザインしない」自由討論の場を設けたりもした。

市民会議がスタートする時、行政と市民、特に当事者である PTA との間の信頼関係はゼロからの手探り状態に陥っていた。われわれが本事業を受託したのは、懇話会 4 番目の目的である、「**市民、行政、企業、が信頼関係を深め、協働のスタンスや仕組みが鳥羽にいきづくようなプロセスをともに創ってゆく。**」を果たすためである。同時に進行しつつあった「**とばみなとまちづくり市民協議会**」や、一定の成果をあげつつあった「**まちづくり提言市民会議**」が本当にまちに根付くための大前提として、鳥羽小学校の建設問題は、**協働のスタンスで必ず成功させなければ、協働のまちづくりが成り立たなくなる、そんな深刻な事態**であった。

第五回市民会議において、市民会議は、用地案を四つに絞った段階で選定のための議論を休止して、鳥羽市にいったんゆだねることとなった。それは、特に**日和山の取り扱いが非常にデリケートな問題をはらんでいた**からだ。埋蔵文化財問題とあいまって、今まで一種棚上げされていた、まちづくり上の課題が対立軸として浮かび上がった。相容れない価値と価値がぶつかりあい、委員同士ですら陰悪な雰囲気は漂いつつあった。客観評価の「手法」によって異文化交流の気づきを創造するには、時間もなければ、「前回に使い切った」という状況が足かせとなっていった。**幹事会での議論においても、小学校やこどもたちの未来という観点でなく、「日和山」をどうするべきなのか？という根本的な課題に立ち入らざるを得なくなっていた。**本来「日和山」を扱うべき「みなとまちづくり」の方も、まだまだ、機が熟しているとは言いがたい状況では、市民会議の場で「**日和山**」の議論に**決着を求めることは、市民の間の信頼関係にひびをいれることになる、**と判断することとなった。

さて、市民会議の企画進行役として、行政と市民の間に立って参加のデザインに汗を流す現場だからこそ見えてきた課題がふたつある。前回の繰り返しになるところも多いが、改めて書いておこう。

ひとつは、従来から指摘しつづけてきたように、「協働型意思決定」のための仕組みがないということ。鳥羽市に限らず行政においては、一般の市民、独立した市民セクターと「協働」で課題解決にあたる習慣がなかった。ゆえに職員の技能の中で、異なった価値観と価値観をすりあわせて公正公平に、フラットで透明な場づくりをし、公の目的からずれずに意思決定をする「協働型会議」の技能が立ち遅れている。そして、多様な市民層とともに「公」をささえるためのシステム、仕組み、ルールが不在か、あるいは深刻なミスマッチをおこしているのである。

さらに、事前に、致命的になるまえに課題を抽出する、予防的な「評価」のシステムがないのである。また市民会議受託の際、「協働型契約」に相当するものがない。ワークショップの位置づけ、その決定事項に対して、市民との約束をきちんと果たせるだけの「効力」がもたせられるのかどうか不明確である。直接民主主義的なワークショップと、間接民主主義のシステムである議会との関係も未成熟であり、「協働」は「想定外」なのか、とさえ思えるほどだ。

ふたつめは、鳥羽市における、まちづくり、都市計画、土地利用に関わるビジョン、ランドデザインがない、あるいはきちんと共有されていないこと、である

ビジョンの不在は、まちづくりにおいて、やむを得ず「場当たり」的な意思決定をせざるを得ない状況をつくりだす。まちのランドデザインの不在は、個々の、分野、団体別ビジョンの乱立を示している。その整合性をとるべき芯、地盤が脆弱なのである。この状況が、鳥羽というまちのすべての課題の根本にある。そして公共事業における意思決定の場面が、極めて覇権的な「野生の王国」へと陥るリスクを負っているのだ。

鳥羽小学校建設の方針が二転、三転したことが、これらの課題を浮き彫りにしていると言えよう。もうひとつの協働型市民会議、「とばみなどまちづくり市民協議会」の重要性、そして総合計画の「協働化」の試みである「まちづくり提言市民会議」との連携が、まちの仕組みとして重要なのだ。

さまざまな、システム上の、あるいはビジョン上の未成熟さは、ある意味、理不尽であると言えらるほど深刻な負担を、すべて「現場」へと押し付けがちになってしまう。そして現実問題として、現場には「協働をコーディネート」する技能も余裕も資源も、すべ

て不十分なのである。そして本来、行政、市民、というその課題の当事者とは別の立場、**第三者的立場のセクターが「協働をコーディネート」する「通訳」として「異文化交流」の橋渡しをしなければ土台無理な話なのだ。**市民の誠実と行政の誠実、それは「異質である」というところから始めなければ傷つけあう不幸を呼ぶ。それはデリケートな「参加のデザイン」によってしかクリアできない。**「協働コーディネート」とは極めて「専門性」の高い技術なのである。**

協働のまちづくりは、まちの漢方薬であり、健康法である。常日頃から心がけ、時間をかけてじっくりと信頼関係を築きながら、ゆっくりと、企画の根っこから共有していかなければならない。「協働」という言葉が、あまりにも**便利な魔法の言葉**になりすぎている。漢方薬を抗生物質のように使うのは無茶なのである。そして**漢方には漢方の処方がある。**無茶したら患者を殺す結果となる、10年かけて。漢方での失敗は急にはわからない。5年、10年かけて着実にまちの健康を奪うのだ。

本市民会議の成果がきちんと評価され、少しでも、この尊いプロセスが生かせるまちであってほしいと、切に願うものである。

もちろん、我々NPOも、ミッションを果たすために、この重要な課題に対して一緒に取り組んでいく事は言うまでもない。

参考資料)

■NPO 法人伊勢志摩 NPO ネットワークの会とは

<http://www.po-npo-n.com/>

NPO 法人伊勢志摩 NPO ネットワークの会 (Powerful=力強くて、Positive=積極的で、Possible=可能性を信じる NPO の NETWORK、これを PONPON と略称する) は、伊勢志摩を NPO のいきづく地域にするために既存の市民団体、市民がスクラムを組み、新たな市民団体や責任ある市民を増やしていき、行政や企業と協働し、自立して快適で活力ある地域を創出する推進力をみんなで創ろうというネットワークである。

PONPON の活動は、事務局運営、広報誌 (伊勢志摩ぼんぼん通信) の発行、HP と ML の運営、主にメンバー対象の支援、研修、定例会などを通じた交流、情報交換、そしてミッションに合う協働事業の受託などである。最近の活動としては「伊勢市市民活動センター (仮称) 検討委員会」を通して提言をまとめ、センター運営のサポートが始まりつつある。「WS 派遣事業」としては、行政職員のための「協働」講座など多数、鈴鹿市主催「みんなをつなぐワークショップ」「NPO が元気な鳥羽をつくるワークショップ」「鳥羽市職員ファシリテーター研修」など。

参考論文)

■NPOのいきづくまちを目指して～協働の現場から

<http://www.po-npo-n.com/NPOreport/repo-sukeru.html>

寄稿 2004 夏季「地域政策・あすの三重」（企画編集 三重県 政策開発研修センター）

【資料編】 HP に UP したライブレポート

■ 新しい・鳥羽小学校用地選定市民会議

<http://d.hatena.ne.jp/sukeru1228/>



2005-09-25 鳥羽小学校用地再選定始まる！ 編集



■[鳥羽小]鳥羽小学校用地再選定始まる！ 16:41

(写真は 29 日オリエンテーションの準備風景)

鳥羽小学校建設用地選定市民会議

■日時:9/29 19:00

■場所:文化会館(予定)

■テーマ:オリエンテーション

「ふたたび同じテーブルにつこう」

■対象:委員、及び委員候補者

市民公開、オブザーブ可能。

■[鳥羽小]鳥羽市の HP で、用地選定今までの歩みを公開 16:41

★鳥羽市の HP に、懇話会での議論をとりまとめ情報公開しました。top page のトピックスから飛べます。

直には

<http://www.city.toba.mie.jp/kakuka/kyoui/soumu/youtisentei/mokuji.html>

■[鳥羽小]新しい鳥羽小学校用地候補地 16:54

締め切りの 9 月 22 日までに、公募に応じた鳥羽小学校用地候補地は以下の通り。

1 鳥羽一丁目 日和山

2 鳥羽五丁目 若竹団地の南側山

3 鳥羽一丁目 ドライブイン鳥羽の向側

4 鳥羽三丁目 城山児童公園

5 鳥羽一丁目 とば美台の裏山

6 堅神町 堅神公民館横

7 鳥羽五丁目 赤崎神社の裏山

8 鳥羽一丁目 ドライブイン鳥羽の裏側

■候補地の位置を地図に落としてあります。

<http://www.city.toba.mie.jp/kakuka/kyoui/soumu/youtisentei/kouhotimokuji.html>

★くわしい候補地の内容が知りたい方は鳥羽市教育委員会まで

■[鳥羽小]用地選定会議の予定表、各回のテーマ(案) 11:36

オリエンテーションの後、6回の会議を通して、結果を出そうという目標を立てています。

★以下を Click すると用地選定会議の予定表、各回のテーマと概要(案)が読めます

<http://www.city.toba.mie.jp/kakuka/kyoui/soumu/youtisentei/kaigigaiyou.html>

2005-09-29 オリエンテーション 編集



■[鳥羽小]オリエンテーションのレポート 17:15

(写真は木田市長の挨拶)

PONPON(NPO の会)で、当日お手伝いいただいたスズケンくんの感想が届きました。

<http://d.hatena.ne.jp/kenichi980/20050930>

■[鳥羽小]オリエンテーションの内容、事項書 11:39

■以下を Click するとオリエンテーションの事項書が読めます

<http://www.city.toba.mie.jp/kakuka/kyoui/soumu/youtisentei/jikousyo.pdf>

■以下を Click すると今後の会議の進め方、予定表が読めます

<http://www.city.toba.mie.jp/kakuka/kyoui/soumu/youtisentei/kaigigaiyou.html>

■[鳥羽小]こんなことを話し合い、合意しました。さあ、始めましょう 18:27

- ・ワークショップ。工夫してみんな対等で意見を出せる場に
- ・ルール、マナーを守ろう
- ・行政には検討に時間がかかることがある。即決できないこともあるのをせめないで。
- ・アドバイザーは公平に中立に場を Check。
- ・個人情報の取り扱いに注意
- ・言葉のキャッチボールをもっともっと十分に
- ・旧懇話会の反省を踏まえて、後戻りをしないように
- ・まちづくりとの整合性、観光のまちづくりも大切だ
- ・これが最後のチャンス
- ・とにかく再びテーブルについて、小学校が建つまで子どもたちのために、大人としての責任を果たそう。

■[鳥羽小]座長、副座長、幹事を決めました 18:17

本会議に先駆けて、教育委員会が、座長、副座長、幹事の皆さんを呼んで、内容の精査、課題等を事前に Check する運営会議を持ちます。僕が進行役をやります(NPO の会)、この会の「顔」になっていただく皆さんをみんな決めました。旧懇話会と同じく、「委員長」という議決の最終権限を持つという役割ではなく、フラットな会議の世話役といった役割です。

座長 大松さん

副座長 中村さん(PTA 会長)、遠藤さん

幹事 村瀬さん、河村さん、吉水さん、出口さん、片岡さん

■[鳥羽小]鳥羽小学校用地選定市民会議の目的を決めました 11:50

会議の目的をしっかりときめ、合意しました。

- 1 子どもたちの未来のために、しあわせのためにを第一に考えて、ふさわしい鳥羽小学校用地を選定する。(候補地をひとつにしぼる)
- 2 鳥羽のこれからのまちづくりとの整合性を考慮した上で用地を考える。特に観光のまちづくりへの影響に留意する。
- 3 できる限り、早期実現を目指しうる用地としたい。けれども、市民会議において十分納得のいく議論を積み重ね、必要なプロセスであればあえて「急がば回れ」も辞さない。
- 4 市民、行政、企業、が信頼関係を深め、協働のスタンスや仕組みが鳥羽にいきづくようなプロセスをともに創ってゆく

■[鳥羽小]鳥羽市からの約束と鳥羽小学校用地選定市民会議の基本方針 11:55

市長立会いのもと、鳥羽市からの約束と鳥羽小学校用地選定市民会議の基本方針を決めました。

■鳥羽市から当会議メンバーへの約束

- 1 ここが正式な市民と行政との協働の場です。
- 2 鳥羽市は、ここで決ったことを最優先で取り上げます。

基本方針を、市長立会いのもと、みんなで議論して決めました。

■鳥羽小学校用地選定市民会議の基本方針(市長も例外ではありません)

- 1 ここでみんなで決めたことは、みんなで後押ししよう。自分の意見とは違う結果になったとしても会議で決めたことは尊重しよう。
- 2 致命的な問題がおこる前に、みんなでこの場に情報を持ち寄って、この場で解決しよう。

2005-10-02 次回開催日は！ 編集

■[鳥羽小]次回開催日は！ 17:15

■日時 2005/10/12 (水)

■場所 鳥羽市民文化会館(予定)

■テーマ 候補地を理解しよう

★どなたでもオブザーブ可能です。

2005-10-05 次回 10/12 までの検討予定 編集

■[鳥羽小]次回 10/12 までの検討予定 14:34

急ピッチで用地選定のための準備が進んでいます。先日は、市長が、課を越えて教育委員会に実務的なサポートをするように鳥羽市役所内の会議を持ちました。

各候補地を、まちづくりのさまざまな面から検討する実務者WSの精度を上げるべく、まず市長から体制づくりに乗り出してくれました。それを受けて、実務担当者が集まります。教育委員会のベテラン担当者、やや頭薄めのHさんが法規制の面からの資料を精力的に集めています。課長は手続き事務と全体の調整、座長さんたちへの連絡相談です。ぼくら進行役は行政と市民の間に立って、すぐに「専門化」してしまう行政のノリをCheck。当事者である鳥羽小PTA建設委員会との連絡も密に、保護者の皆さんへの緊急アンケートの相談など。

また、情報を出来る限り広く公開しガラス貼りの運営にするために、今回は鳥羽市教育委員会で専用のpageを立ち上げ、主要な資料も随時upします。教育委員会若手のY君を中心に態勢ができています。

★第一回実務者WS

■2005/10/07 金

■13:00 教育委員会

■鳥羽市役所 関連部署 実務者

■「候補地の法規制から整理しよう」

★第一回運営会議

■2005/10/11

■19:00 教育委員会

■市民会議メンバーの中の、座長副座長、幹事の皆さん

2005-10-11 明日のための打ち合わせ会 編集

■[鳥羽小]明日のための打ち合わせ会 11:28

19:00、O 座長はじめ、鳥羽小 PTA 関係の副座長、幹事の皆さんに集まってもらい、教育委員会にて、明日の本会議のための打ち合わせ WS をする。明日、「候補地を理解しよう」ということで、大きく法規上の問題はないか、実現性の観点から調べたことをわかりやすく説明し、みんなで共有しよう、ということなのだけれど、それが「わかりやすいか」みんなは、どこが「問題」だと感じているか、何がわからないか、どこが知りたいか、という「受け止める側」として、それから子どもたちに直接関わっている「責任感」からの「問題意識」による Check をする。

一番の切実な用地のふさわしさを計るポイントは、

- 1 学区の中で統合も考えて通学を考えて、良い位置にあるか？
- 2 安全安心な通学路、進入路が確保できるのか？ ということでした。

2005-10-12 第二回 「候補地を知ろう」ライブレポート 編集



■[鳥羽小]候補地の地図です。 23:34

■候補地の地図は以下のアドレスを Click!

<http://www.city.toba.mie.jp/kakuka/kyoui/soumu/youtisentei/kouhotiitiran.html>

締め切りの 9 月 22 日までに、公募に応じた鳥羽小学校用地候補地は以下の通り。(再掲示)

- 1 鳥羽一丁目 日和山

- 2 鳥羽五丁目 若竹団地の南側山
- 3 鳥羽一丁目 ドライブイン鳥羽の向側
- 4 鳥羽三丁目 城山児童公園
- 5 鳥羽一丁目 とば美台の裏山
- 6 堅神町 堅神公民館横
- 7 鳥羽五丁目 赤崎神社の裏山
- 8 鳥羽一丁目 ドライブイン鳥羽の裏側

■[鳥羽小]第二回「候補地を知ろう」で検討した成果 23:37

■検討したこと

1. アンケート結果発表(ふさわしいと思うところ、ふさわしくないと思うところ)
2. 候補地を理解しよう(実現性の度合いをガイド、あくまで参考)
3. 候補地の良いところ・悪いところはどんなものがある？
4. 鳥羽小用地のふさわしさ最も重要視する決め手はなに？(会議終了時にアンケート)

■会議の成果

会議メンバーに事前に、候補地がどこが一番ふさわしいか、逆にどこが一番ふさわしくないか、**第一印象のアンケート**を取りました。その結果を会議の冒頭で披露するところから始めました。**一番の注目は、今回新しく提案された「1.日和山」**でした。学区の中心部にあること、通学の便がいいなど、子どもを通わせる当事者の立場からの評価は高いのですが、観光のまちとして、日和山をどうとらえるかで、「**観光と教育の融合**」という立場と、**観光資源としての開発可能性を残すべき**という立場で議論が occurred。

「**3.城山**」は人気も高い代わりに不人気度も高く、かつ、**法規制**などの実現性、公募条件である面積を単独では満たさず、上運動場を活用する案であるということが「**実現困難性**」

が極めて高いと教育委員会から報告されました。もう一箇所、「8.ドライブイン鳥羽の裏側」も、土地の形状から**公募面積を確保できない**ことがわかり、かつ、**工業地域**にかかるために、現状の用途規制から学校がたてるのは極めて困難という報告がされました。

ちなみに、鳥羽小学校 PTA が行った保護者アンケートでは、「**日和山**」が一位、ついで「**堅神**」と、**人気は二分され**、その他の用地を推す人はバラバラでした。

■実現性の度合いを減点法で表現(参考)

非常に困難(赤)を-2 点、困難(黄色)を-1 点として、各候補地の実現性の度合いを参考に減点法で表現してみました。

1	日和山	-1
2	若竹団地の南側山	-6
3	ドライブイン鳥羽の向側	-4
4	城山児童公園	-8
5	とば美台の裏山	-6
6	堅神公民館横	-2
7	赤崎神社の裏山	-4
8	ドライブイン鳥羽の裏側	-8

★10/28 に明らかになった問題から、上記「日和山」の実現困難性は、もっと高くなっています。■検討した成果をくわしく知りたいときは以下を Click!

<http://www.city.toba.mie.jp/kakuka/kyoui/soumu/youtisentei/1kaigi.html>

鳥羽小学校 PTA 建設委員会が保護者の皆さんに、鳥羽小学校の用地としてどこがふさわしいか?というアンケートの結果も上記アドレスに書かれています。

■[鳥羽小]第二回「候補地を知ろう」ライブレポート 11:10

朝から教育委員会に詰めて準備、進行表づくり、各候補地の法規制などの「実現性 Check」資料を Y 君たちと作成しつつ、何度も何度も課題を確認し、「わかりやすさ」Check をかける。8 箇所の候補地の資料は膨大だ。どうシュミレーションしても時間が足りない。ともあれやるべきことはすべてやった、とほっと一息ついたのが開催 40 分前、ずいぶん長く教育委員会の皆さんとは一緒にやっているの、設営も慣れてきたかんじだ。

15 分前くらいからどんどん委員の皆さんがやってくる。教育委員会へも問い合わせも多いらしく、オブザーバーの方も多い、あっという間に満員状態となる。教育長も来た。遠方出張されていた市長も定刻に間に合った。

前回の振り返り、委員の皆さんのハガキアンケートを発表する。注目は「日和山」と「城山」だ。程なく、アドバイザーの浅野先生も駆けつけてきてくれた。候補地を理解しよ Part1 で、まず各候補地の法規制、制限、実現性を説明してゆく。実現性 Check は、教育委員会が関係部署に問い合わせたり資料を当たったりした結果を、わかりやすさの点で僕が表現方法を Check し、座長、副座長、幹事会で検討した上で提示している、教育委員会としてココガイチオシというような候補地はなく、出来る限り公正に平等に表現している。質問 Time をとる。保護者の皆さんも含め、学区の中央付近に位置し、坂手との統合を考えてアクセスが良いように思われる「日和山」の人気は高い。運営法も現行法の範囲ではひっかかる観光関係の施設はない。まちづくりとの整合性に関しては、観光のまちとして、日和山をどうとらえるかで、「観光と教育の融合」という立場と、観光資源としての開発可能性を残すべきという立場で議論がおこる。

「城山」に関しては、人気も高い代わりに不人気度も高く、かつ、法規制などの実現性、公募条件である面積を単独では満たさず、上運動場を活用する案であるということが「実現困難性」が極めて高いと教育委員会から報告されました。もう一箇所、「8.ドライブイン鳥羽の

裏側」も、土地の形状から**公募面積を確保できない**ことがわかり、かつ、**工業地域**にかかるために、現状の用途規制から学校がたてるのは極めて困難という報告がされました。

ずいぶんと、「日和山」と「城山」で時間がかかってしまい、後半はかけあしで各候補地の長所、短所のアイデア出しをしてゆく。関心の薄い用地、「良いところ」がひとつもない用地などもあった。今回の時点では、候補地を足切りすることはせず、次回に精査することとしたが、「第一回目から(可能性が薄い用地でも)いきなりアシキリするのはいかなものか」という意見と「いつかは絞らねばならない。提案者に配慮するならば、逆に出来るだけ早くダメならダメと結論付けるべきだ」という両方の意見が出る。

(つづく)

2005-10-13 次回開催予定、いよいよ次は候補地の絞込みを始めま

す 編集

■[鳥羽小]次回開催予定、いよいよ次は候補地の絞込みを始めます 10:59

昨日、第一回目の会議がありました。活発な議論でした。くわしくはライブレポートを書きます。次回開催予定日は以下の通り、正式な開催案内は鳥羽市教育委員会にお問い合わせください。

■日時 2005/10/28 (金)

■場所 鳥羽市民文化会館(予定)

■テーマ 候補地を大きく絞り込もう

★どなたでもオブザーブ可能です。

★ 幹事会は 10/26(水)19:00、教育委員会で行われる予定です。



(写真は、最後に行った、どの候補地がもっともふさわしい？もっともふさわしくない？第二印象アンケート、○がもっともふさわしいに手を上げた数、△がもっともふさわしくない、に手を上げた数。○の数マイナス△の数でポイントをつけてみた(参考))

■[鳥羽小]ニュースレターVOL1 を発行しました。 15:33

オリエンテーション、第一回市民会議の様子です。以下をクリック！

<http://www.city.toba.mie.jp/kakuka/kyoui/soumu/youtisentei/News1.pdf>

■[鳥羽小]速報、第二回「候補地を大きく絞ろう」の結果 09:59

「④城山児童公園」と「⑧ドライブイン鳥羽の裏側」は、学校建設用地の面積確保が困難であるという理由から、今回、候補地から外すということになりました。ご提案いただいた方々、また、ご支援いただいた方々に厚くお礼申し上げます。

(教育委員会 HP より)

★第二回会議の結果は以下をクリック!

<http://www.city.toba.mie.jp/kakuka/kyoui/soumu/youtisentei/2kaigi.html>

■[鳥羽小]日と山で新しい課題が明らかになりました 12:18

前回の一次調査では、文化財のエリアからはずれているとのことでしたが、web に公開されている地図そのものがまちがっており、また鳥羽市に保管されていた資料もまちがいのことが判明し、二次調査を行い、県から調査の方が現地入りして調べたところ、日と山の

候補地自体が「埋蔵文化財」の指定エリアに入り、もし造成などを行うのならば調査が必要であり、「日和山」の歴史的価値に思いいれのある市民が少なからずいることと、観光資源としての価値とあいまって、期間、費用の面など一連の手続きを踏む必要があることがわかりました。

小浜、坂手島との統合を考慮しているため、特に離島などからのアクセスや、学区の中心に近い点など統合に関するメリットを切実に望む方、それからマリンタウン構想と連携して、「観光、史跡と教育の融合」のまちづくりのエリアとして実質上遊休地である日和山を今こそ活用すべきだ、という方やPTAの方たちの人気を集中させていた「候補地」であるだけに課題を受け止めるのに時間がかかります。

★

ただのまちがいで済むのだろうか？という意見もあり、「日和山」の今回判明した課題を、委員の皆さんも受け止め、周りの人たちに伝える説明責任もある、ということで、一足飛びに候補地からはずすということにはなりませんでした。

以前のいきさつについても調査をしますが、それはさておき、今までとは違い、致命的になる前に問題を事前に Check できたことは、ささやかながらも、「鳥羽市のしくみ」「教育委員会」の進歩であることは確かです。議論は白熱し、声を荒げる場面もありましたが課題は課題として受け止め、さらに詳細な調査をすることと、委員としても「日和山も含めて候補地みんな、現地を歩いて確かめよう」という前向きな提案が座長から出され、一歩前に進むことができました。

■[鳥羽小]日和山は「鳥羽城」よりも古いお城の跡、知ってましたか？ 12:47

日和山は、なんでも九鬼の殿様以前の城跡だそうです。高城城(たかぎじょう)というそうです。室町時代の、もしかしたらとても貴重かもしれない「石積み」が埋まっている可能性もあるそうです。

2005-11-02 次回開催予定、次は候補地の絞込み VOL2 編集

■[鳥羽小]次回開催予定、次は候補地の絞込み VOL2 です。 09:48

10/28 第二回目(オリエンテーションを除く)の会議がありました。活発な議論でした。くわしくはライブレポートを書きます。次回開催予定日は以下の通り、正式な開催案内は鳥羽市教育委員会にお問い合わせください。

■日時 2005/11/22 (火)

■場所 鳥羽市民文化会館(予定)

■テーマ 候補地を大きく絞り込もう2

★どなたでもオブザーブ可能です。

★幹事会の予定は未定

■[鳥羽小]候補地に行って実際に見てみよう 2回に分けて見て回ります 09:48

座長の提案により、実際に候補地にあがっている場所に行って、心と体ごと「見てみる」ことも大切だということになり、急遽日程を決めました。委員の皆さんには開催案内が郵送されます。正式な案内は教育委員会にまでご確認ください。

■日時 2005/11/07 (月) AM9:00

■場所 教育委員会集合、各候補地を回ります

■テーマ 候補地に行って実際に見てみよう 1

■日時 2005/11/09 (水) PM1:00

■場所 教育委員会集合、各候補地を回ります

■テーマ 候補地に行って実際に見てみよう 2

候補地を実際に歩いて見てみましょう。そのときに、**ただ漫然と見るのではなく**、Check リストを手に、書き込みながら回ります。**特に以下のことに十分意識**を持って見て歩きたいと思
います。

一番の切実な用地のふさわしさを計るポイントは、

- 1 学区の中で統合も考えて通学を考えて、良い位置にあるか？
- 2 安全安心な通学路、進入路が確保できるのか？ ということでした

2005-11-09 候補地に行って実際に見てみよう「現地視察」編集



■[鳥羽小]候補地に行って実際に見てみよう「現地視察」 16:30

(写真は、説明を受ける市民委員)

ただ漫然と見るのではなく、Check リストを手に、書き込みながら回りました。特に以下の
ことに十分意識を持って視察しました。市民委員のべ 20 名が参加して各候補地を回りました。

- 1 学区の中で統合も考えて通学を考えて、良い位置にあるか？
- 2 安全安心な通学路、進入路が確保できるのか？

■[鳥羽小]実際に現地を見に行った候補地 16:30

前回の絞込みで候補地は以下の6箇所となりました。若竹→堅神の順で回りました。以下は回った順に書いてあります。

鳥羽五丁目 若竹団地の南側山

鳥羽五丁目 赤崎神社の裏山

鳥羽一丁目 日和山

鳥羽一丁目 ドライブイン鳥羽の向側

鳥羽一丁目 とば美台の裏山

堅神町 堅神公民館横

■[鳥羽小]候補地を回った皆さんの印象をメモしました 16:30

★鳥羽五丁目 若竹団地の南側山 ***(評価低い)

通学路は安全だが、校区の端すぎる。あしたば作業所の畑は、やはりつぶすわけにはいかないだろう。風致地区であって、法面が2段式となりむずかしい

★鳥羽五丁目 赤崎神社の裏山

船着場あり、坂手島のこどももかよいやすい。国道からすぐに進入路、こどもの送り迎えの車でごったがえさないか?防災の拠点になる。校区の南の端である、堅神から遠すぎるかも歩いていける通学路もきちんと確保できる。地域の人が見守りやすい。まちづくりとして納得しやすい。今回は、候補に残れば企業が責任を持って対応してくれる。

三重の近代化鉱山の跡があり、調査が必要、ただ、日和山ほど大変ではない簡易調査でいい

★鳥羽一丁目 日和山

景色良い、海が見える、夢のある土地。なんとか史跡と整合性をとって生かせないか?埋蔵文化財。ただ反対は根強い。提案者からの抗議文が来た。県の見解は必ずしも不可能ではない。教育委員会の説明は納得しがたいとのこと、と言う。今回の会議でさらに意見を聞く。必要があれば、県の担当者を次回に呼ぶべきであろう。

★鳥羽一丁目 ドライブイン鳥羽の向側

ここも、日和山と同じく、県の人と回ると新たに石垣が出て、埋蔵文化財の調査手続きが日和山と同様手間がかかること(ただし史跡の端であり面積的にも日和山ほど重要ではないという意見がある。ただし経費と時間をかけてプロの監修のもと詳細な調査をしなければなんともいえない)が新たに判明した。見通しの悪そうな通学路の道中が長く、たとえ事故対策としてガードレールで固めたとしても、見守り安さが疑問とのこと。子どもたちの安全安心のためにはここにだけはして欲しくないとの声が聞こえる。PTA の皆さんからは受けが悪い。通学路はかなりの距離をスカイラインに沿って側道をつくらなければならない可能性が高い。、また、敷地の持ち主との交渉に懸念があるという意見も出た。

★鳥羽一丁目 とば美台の裏山 ** (評価低い)

工業地域に隣接、異臭あり、人気薄い。印象薄い

★堅神町 堅神公民館横

校区の 北端、自然豊かだが、まちの発展性はどうか? 文化財はなし、土地が低いがハザードマップではぎりぎり津波には安全。風は強そう。コストが一番安い。通学は、坂手島からは、船、電車、と一年生には不安遠い。

■[鳥羽小]候補地を歩いて確かめた委員さんの感想 16:50

通学路、見守り安さ、統合性、鳥羽小用地としてのふさわしさ、重要度の高い上位三つの指標に関しては、ポイントを2倍にして集計してあります。これは前回の旧懇話会、それ以前の、「用地のふさわしさワークショップ」PTA 主催での評価方法を踏襲しています。

現地視察をした委員さんの感想をまとめました

○ = 1点
△ = 0点
× = -1点

項目	要件	① 日輪山	② 若竹	③ D鳥羽	④ 美台	⑤ 聖神	⑥ 鳥羽
1	安全な通学路が確保できるところ	14	4	-6	-18	6	6
2	地域の人が見守りやすく、安心なところ	14	4	-8	-2	14	20
2	学校の統合も考えた上でふさわしいところ	20	-20	2	-16	-20	8
4	地震・津波などの心配のないところ	10	8	9	9	-2	9
5	騒音がなく、環境のよいところ	9	8	5	3	2	7
6	用地が広くとれるところ	9	-1	7	-4	10	12
7	地域の人々が活用しやすいところ	9	-4	2	-5	-1	6
	合計	85	-1	11	-33	9	68

2005-11-22 候補地を大きく絞り込もう 2 第三回 編集



■[鳥羽小]候補地を大きく絞り込もう 2 00:51

(写真は休憩時間中の委員の皆さん)

現地を見て歩こう、の成果を、当日来られなかった皆さんにも共有できるように、スクリーンに写しながら振り返りました。

その上で、幹事会でも話し合ったとおり、これまでの会議のなかで、委員の方々の評価及び学校建設の実現性が他の候補地と比較して低かった「②若竹団地の南側」と「⑤とば美台の裏山」の2カ所は、今回で候補地から外すことになりました。

ご提案いただいた方々、また、ご支援いただいた方々に厚くお礼申し上げます。

「埋蔵文化財問題等について吟味する」ということで、教育委員会の検討結果を表にして共有していましたが、やはり直接埋蔵文化財に詳しい専門家の話を聞いて、特に日和山の状況が掛け値なしにどうなのか？スカイライン、も埋蔵文化財の範囲だというけれど、範囲や重要度はどう違うのか？けっこう素朴かもしれないけれど、切実な疑問がわいてきているのです。

<11/22 第3回市民会議> 鳥羽市教育委員会 HP

<http://www.city.toba.mie.jp/kakuka/kyoui/soumu/youtisentei/3kaigi.html>

2005-12-07 埋蔵文化財問題について理解を深めよう 第四回 編集



■[鳥羽小]埋蔵文化財問題について理解を深めよう 00:35

(写真はフリートークの会議メモの模造紙)

いくつかの候補地の中に埋蔵文化財があるということで、いったいどんな影響があるのか？直接専門家の話を聞こうってことで、三重県教育委員会 文化財保護室長 山田 猛氏にお願いしてレクチャーをしていただきました。みんなの関心は、特に立地的にPTAの皆さんに人気の高い日和山がほんとうに小学校用地とするのにふさわしくない、あるいは規制として不可能であるのかどうか？でした。埋蔵文化財があるからと言って用地とするのは不可能ではないけれど、きちんと理解した上で、それは本来、当事者である市町村で、どのように大切にするかを決めることである、とのことでした。

レクチャーの後は、色々と言いたいことも溜まっているかも？ということで二つのグループに分かれてフリートークの時間をとりました。

<12/7 第4回市民会議> 鳥羽市教育委員会 HP

<http://www.city.toba.mie.jp/kakuka/kyoui/soumu/youtisentei/4kaigi.html>

2006-01-06 提案者ヒヤリング「ヒヤリング」 編集

■[鳥羽小]提案者ヒヤリング「ヒヤリング」 20:45

候補地として残った4箇所、日和山、スカイライン、堅神、赤崎、について提案者からのヒヤリングの機会を設けました。地権者との交渉、用地造成、通学路での安心・安全、子どもたちの未来へのメリット、等について提案者の考え方と事実関係についてヒヤリングを行いました。

2006-01-10 四つの候補地を整理して決め手は何か？を決めよう 第

五回 編集



■[鳥羽小]四つの候補地を整理して決め手は何か？を決めよう 00:10

(写真はびっしり書き込まれた会議メモの模造紙)

さて四つの候補地、1月6日の提案者さんのヒヤリングを幹事さんたちと聞き、その夜に行われた幹事会では、なかなか決めてがはっきりとせず、議論は堂々巡りの様相を呈しました。なぜならば教育環境についての議論ではなく、鳥羽市にとって日和山はどうあるべきか？という「価値」とビジョンをどう舵取りするか？ということが対立軸だからです。

それぞれに一長一短、というレベルではなく、問題は大きな鳥羽というまちのあり方にまで触れる「意思決定」に関わることでした。それはもう市民会議の権限を越えているのではな
いか？ということなのです。

- 1 日和田
- 2 ドライブイン鳥羽の向側
- 3 堅神公民館横
- 4 赤崎神社の裏山

市民会議の中でも、幹事会と同様に議論は「決め手」がはっきりとしない、言わば飛びぬけて用地のふさわしさのポイントがまさっている、少なくともみんなが胸に落ちる納得できるモノがないということがわかってきました。幹事会からの提案の通り、ここはいったん鳥羽市に預けるべきではないか、という結論になりました。

<1/10 第5回市民会議>鳥羽市教育委員会 HP

<http://www.city.toba.mie.jp/kakuka/kyoui/soumu/youtisentei/5kaigi.html>

2006-01-11 鳥羽小学校用地選定の経過を中間報告します 編集



■[鳥羽小]鳥羽小学校用地選定の経過を中間報告します 23:26

(写真は鳥羽小学校記章)

1/10日の市民会議で、四つの候補地に絞り込んだ時点での鳥羽市への提言書です。用地選定、今までのあらすじがわかります。

平成 18 年 1 月 11 日

鳥羽市長 木田 久主一 様

鳥羽小学校用地選定市民会議

座長 大松 正嗣

提 言 書

木田市長から検討の依頼のありました鳥羽小学校建設用地の選定につきまして、「市民会議」における検討結果の大要と審議に使用した資料を添えて、下記の通り提言します。

記

1.鳥羽小学校建設候補地の選定

鳥羽小学校(将来的に小浜小学校及び坂手小学校との統合を考える)

に望ましいとした選定地区

- 日和山
- ドライブイン鳥羽の向側
- 堅神地区(堅神公民館の裏山の土地)
- 赤崎地区(赤崎神社の裏山の土地)

これまで、子どもたちの未来のために鳥羽小学校用地選定に取り組んできましたが、1月10日の市民会議において、上記4つの候補地にまで絞り込んだ段階で、いずれを採用するにも、例えば「日和山を鳥羽の未来のためにどう活かすべきか」など、鳥羽市全体のまちづくりの方向性に関わる判断が要求されると認識しました。

そのため、鳥羽市から、「この価値観」を第一に考えて「この候補地」を採用したいという提案をいただき、市民会議に諮って決定するという形で、鳥羽市にゆだねることとします。ただし

1.市民会議に、納得のいく鳥羽市の未来像を示していただくこと

2.市民で決めた選定のためのガイドライン(下記ものさし)を出来る限り尊重していただくこと

1 安全な通学路が確保できる場所

2 地域の人が見守りやすく、安心できる場所

3 将来的の学校統合も考えた上でふさわしい場所

4 地震・津波の心配のない場所

5 汚染や騒音がなく、環境の良い場所

6 用地が広くとれるところ

7 地域の人々が活用しやすいところ

上記、1,2,3 は最重要事項、以下は次に優先するべき事項、です。(市民会議 10 月 12 日におけるアンケート集計結果による)

3.そして市民会議において鳥羽市からの提案が了承された場合、委員は一丸となって市の決定をサポートすることとします。

2.市民会議における選定経過の概要

□鳥羽小にふさわしい建設用地とは？

本市民会議は、PTA、ボランティアで創る鳥羽小建設実行委員会、小学校 OB 代表、自治会、観光協会、など市民の皆さんが委員となって、以下の目的を果たすために

NPO 法人伊勢志摩NPOネットワークの会が進行役となり、三重大学の浅野先生をアドバイザーとして、市民と協働で創り上げる会議＝WS(ワークショップ)形式で進めました。

- 1 子どもたちの未来のために、しあわせのためにを第一に考えて、ふさわしい鳥羽小学校用地を選定する。(候補地をひとつにしぼる)
- 2 鳥羽のこれからのまちづくりとの整合性を考慮した上で用地を考える。特に観光のまちづくりへの影響に留意する。
- 3 できる限り、早期実現を目指しうる用地としたい。けれども、市民会議において十分納得のいく議論を積み重ね、必要なプロセスであればあえて「急がば回れ」も辞さない。
- 4 市民、行政、企業、が信頼関係を深め、協働のスタンスや仕組みが鳥羽にいきづくようなプロセスをともに創ってゆく

鳥羽小学校 PTA の皆さんの「ふさわしい用地をえらぶ物差しづくり」のWSと、旧懇話会での議論をもとに、公募期間に用地提供の申し出や提案があった8の土地(現敷地を除く、現校舎のリフォームを除く、以下の通り)を対象に議論を深めました。

- 1 鳥羽一丁目 日和山
- 2 鳥羽五丁目 若竹団地の南側山
- 3 鳥羽一丁目 ドライブイン鳥羽の向側
- 4 鳥羽三丁目 城山児童公園
- 5 鳥羽一丁目 とば美台の裏山
- 6 堅神町 堅神公民館横
- 7 鳥羽五丁目 赤崎神社の裏山

8 鳥羽一丁目 ドライブイン鳥羽の裏側

□1. ふたたび同じテーブルにつこう「オリエンテーション」平成 17 年 9 月 29 日

ボランティアで創る鳥羽小建設委員会の頃から、旧懇話会を経て、今までのいきさつを振り返り、目的を共有し、ここで議論されたことが正式に最優先で取り上げられると、約束をしました。

□2. 候補地を理解しよう「第一回市民会議」平成 17 年 10 月 12 日

第一回テーマ「候補地を理解しよう、実現性から、大きくCheckしよう」では、鳥羽市としての選定基準、費用、期間、交渉性、地震津波、土壌などの安全性、合法性などと、市民としてのものさし、(安全に通学できる、広くてのびのびできる、地域の人が見守りやすいなど)に照らし合わせて各候補地の利点、課題、などを整理し、共有しました。また鳥羽小用地のふさわしさで最も重要視する決め手は何か、というアンケートを取り、PTA で議論されたものさを市民会議として修正をしました。

□3. 候補地を大きく絞り込もう①「第二回市民会議」平成 17 年 10 月 28 日

各候補地を比較検討しました。主に城山と日和山のあり方に議論が集中しました。新たに日和山に埋蔵文化財の調査が必要という課題が浮上しました。結果としては「④城山児童公園」と「⑧ドライブイン鳥羽の裏側」は、学校建設用地の面積確保が困難であるという理由から、今回、候補地から外すということになりました。また、候補地を実際に歩いて各々の課題について深く考えようとの提案がされました。

□3-1. 候補地に行って実際に見てみよう「現地視察」平成 17 年 11 月 7,9 日(二回)

ただ漫然と見るのではなく、Check リストを手に、書き込みながら回りました。特に以下のことに十分意識を持って視察しました。

1.学区の中で統合も考えて通学を考えて、良い位置にあるか？

2.安全安心な通学路、進入路が確保できるのか？

□4. 候補地を大きく絞り込もう②「第三回市民会議」平成 17 年 11 月 22 日

現地を視察した成果をみんなで共有し、それを踏まえた上で、委員の方々の評価及び学校建設の実現性が他の候補地と比較して低かった「②若竹団地の南側」と「⑤とば美台の裏山」の 2カ所は、今回で候補地から外すことになりました。また、埋蔵文化財としての調査が必要な用地として、「日和山」以外に「スカイライン」も対象区域に入ることがわかり、「赤崎」も簡易的に調査は必要との報告がされました。次回はそれを踏まえ、埋蔵文化財問題について勉強する機会を持つということになりました。

□5. 埋蔵文化財問題について理解を深めよう「第四回市民会議」平成 17 年 12 月 7 日

県教育委 文化財保護室から山田 猛 氏を講師としてお招きし、埋蔵文化財問題について学び、意識を高めました。後半は、今までの議論を踏まえ、自由な討論の機会をつくりました。

□5-1. 提案者ヒヤリング「ヒヤリング」平成 18 年 1 月 6 日

候補地として残った 4箇所、日和山、スカイライン、堅神、赤崎、について提案者からのヒヤリングの機会を設けました。地権者との交渉、用地造成、通学路での安心・安全、子どもたちの未来へのメリット、等について提案者の考え方と事実関係についてヒヤリングを行いました。

□6. 四つの候補地を整理して

決め手は何か？を決めよう「第五回市民会議」平成 18 年 1 月 10 日

提案者とのヒヤリングの成果を共有して条件を整理しました。これまで、子どもたちの未来のために鳥羽小学校用地選定に取り組んできましたが、4つの候補地にまで絞り込んだ段階で、いずれを採用するにも、例えば「日和山を鳥羽の未来のためにどう活かすべきか」など、鳥羽市全体のまちづくりの方向性に関わる判断が要求されると認識しました。

そのため、鳥羽市から、「この価値観」を第一に考えて「この候補地」を採用したいという提案をいただき、市民会議に諮って決定するという形で、鳥羽市にゆだねることとします。

2006-01-16 各候補地、あえてどれかひとつをけずろうとすると、どう

なるかの考察 編集



■[鳥羽小]各候補地、あえてどれかひとつをけずろうとすると、どうなるかの考察 17:52

(写真は鳥羽小学校記章)

現在残っている4つの候補地案について、「各候補地、あえてどれかひとつをけずろうとすると、どんな風にちょっと待った！がかかるか」という考察をしてみました。

■日和山を候補地から外そうよ、なぜならば、、、

文化財だよ。残すべき。歴史文化を大切に！観光資源にも？地元で反対

★→ちょっと待った！

埋蔵文化財調査をすれば不可能じゃない。学区の位置ベスト！坂手からも安全に通える。通学路見守りやすい。PTA 中心に支持多い。今まで日和山ほったらかしに近い。教育と歴史文化うまくやれるのでは？海が見える良い環境。生かすべき日和山なら今取得すべき。民間の方が宅地に開発をされたりしたら大切にできなかった？ということになるのでは

■赤崎を候補地から外そうよ、なぜならば、、、

9億以上かかる。工期もかかる。鳥羽市の財政キツイ。学区の構想的に南すぎる

★→ちょっと待った！鳥羽本町の拠点になる。防災上も。文教地区として3,4丁目を発展させるべき。海が見える。離島とのアクセス良い。通学路見守りやすい。さらにもっと未来の学区を考えると南すぎるということはない。

■堅神を候補地から外そうよ、なぜならば、、、

校区の北過ぎる。坂手の通学どうなる。統合のさまたげにならないか？まちの中心にならない。まちづくり上も整合性うすい。こどもも将来へる。取得の安さだけでここにすると魅力のうすいこどもの通わない学校にならないか？(自由校区などで)

★→ちょっと待った！

一番安く手に入る。むしろ池上、屋内、堅神を住宅地として大きく活性化させる方針を建てるべき。北の玄関口として。

■スカイライン(ドライブイン鳥羽向)を候補地から外そうよ、なぜならば、、、

日和山と同じく埋蔵文化財。通学路の見守りやすさ安全安心が、いくら整備しようと不安、事故の多い国道を小さな子が歩くのは？どうまちの活性化になるのか？土地取得に課題があるのでは？PTA 人気低い。通学路整備で結局追加でたくさん金かかるのでは？

★→ちょっと待った！

周辺地区だから日和山ほど重要文化財ではない？通学路は金をかけて整備すればクリアできないか？日和山こそ文化財として公園にし、ここを学校にすれば史跡と連続した整備ができるのでは？まちの活性化にはなると思う。日和山ほど文化財のエリアは広くない。

2006-01-31 鳥羽市から提案された候補地案を検討しよう 編集



■[鳥羽小]「鳥羽市から提案された候補地案を検討しよう」第六回市民会議開催 16:49

(写真は 2/2 に中日新聞に掲載された今回の市民会議の記事)

■提案を聞いてみよう

雨の夜、文化会館の会議室は、委員 27 名(途中で一名早退)、多数の傍聴者にプレスであつという間ににぎやかになった。今回のテーマは、「鳥羽市からの提案を吟味しよう」、前回 1/10 の結果は、日和山、スカイライン(ドライブイン鳥羽)、堅神、赤崎、の 4 つの候補地にしぼった時点で、いったん鳥羽市に預け提案を待つというもの。今回からは市長も教育長もオブザーバーではなく、提案する主役となる。

候補地を決める決め手、それぞれに一長一短あり、どこを選んでも「日和山をどう生かすのか? など、鳥羽市の大きなまちづくりの方向性」を決める意志と勇気とビジョンが必要になるのである。市民会議に先駆けてひらかれた、座長、副座長の皆さん幹事さんと教育委員会との打ち合わせの場所でも、鳥羽市から今回提案される内容については、さらに継続して検討する必要がある旨意見が出ていたため、進行をつとめる僕としては慎重に企画を練らせていただいた。

■こどもたちの歌声から

こどもたちの未来のために、その意識を新たにさせていただくために、会議をはじめるきっかけは、こどもたちの歌う「鳥羽小学校校歌」を使わせていただいた。僕がまずお願いしたのは、「どんなに意見が食い違い白熱しようとも、ずっと議論のテーブルにつきつづけましょう」ということ。「市に決して丸投げすることなく、市民委員ひとりひとりが市長になったつもりで、責任ある議論から逃げない勇気をもちつづけてください」ということ。

課題は簡単なものはひとつもない。候補地選定の上で、通学路の安全安心度、地域の人
の見守り易さなどの市民ポイントの高い候補地(日和山、赤崎など)に限って、実現性、まち

づくり上のハードルが高いのだ。子どもたちの未来のために、あえてどんな「価値」を最優先して候補地を決めるのか？それはもうすでに「政治の仕事」の領域にあるのかもしれない。

■日和山を大切に思う

日和山を大切に思う気持ちはみんな一緒でも、「どう」大切にするのかは議論の分かれるところだ。そして日和山という課題は昭和の時代から保留されてきた、鳥羽市みんなで考えなければならない大きな宿題なのだ。

小学校は、「まちの中心」であり、これからのまちづくりの出発点をどこにするのか、という命題とほとんど等しい。本来ならば、中心が「定点」であるべきかもしれぬ。PTAを中心に鳥羽小学校にふさわしい用地とは？という議論をつづけてゆくと、いかに現校舎の位置がまちの要になっているのかが身に染みてわかるのである。

■各候補地の課題

堅神は学区において北すぎる。赤崎は逆に南すぎる。ちょうど良い位置で通学路の不安も少ない日和山は先人の貴重な文化財が埋蔵されていて造成することをためらう。(ただし不可能ではない)。スカイラインの場所は、中心性と発展性はある程度期待できると考える人もいる反面、通学路の安全安心に関してもっともPTAから疑問視されているのも事実である。(クリアできる課題であるのかどうか検討中である)

■鳥羽にふさわしい教育環境って？

教育長の、鳥羽にふさわしい教育環境についての考え方が示された。生徒の減少、財政の逼迫、きびしい状況の中でも、いかに現在の学校数がちいさなまち鳥羽にとっては多すぎる、とはいえ、それは離島も含めて「分散化」されたまちの立地条件からみちびかれてきた必然ともいえるわけで、例えば安楽島と鳥羽小まで含めたマンモス校化など一極集中は「地域が守り育てる」という価値観から遠ざかることになる。少なくとも、現況で言えることは、

安楽島、鳥羽、加茂の三つは、「定点」としてまちの核にするべきだと考え、学区の整合性をはかってゆくつもりである、と教育長は語りかけた。

■検討をつづけよう

日和山をどうするのか？という課題に関しては、現況、日和山地区は鳥羽市の所有ではなく民間の企業の持ち物であるという複雑な事情があり、財政的に裏づけなど、もっと詰めた検討をつづけないと、責任の重い市長としては明確にこうすると明言しないことこそ現時点での「市民」への誠実であるとの考えである。

その上で今回、「赤崎、日和山を候補地から外し、スカイライン、堅神の2候補地で検討したい」という提案が鳥羽市から出されたけれども、すっきりと合意するところまでは行かず、継続して検討をつづけていただき、次回もさらに詰めた鳥羽市からの検討の成果を聞こうという結果となったのである。(次回日程は未定、調整中)

文化会館から外に出ると、雨はいつの間にか、夜に溶けていた。くろぐろとぬれたアスファルトを越えて、僕たちは朝に向かってそれぞれの一步を踏み出した。

■[鳥羽小]今回(第六回)の検討結果の詳細は鳥羽市の特集ページで 17:10

<http://www.city.toba.mie.jp/kakuka/kyoui/soumu/youtisentei/6kaigi.html>

■鳥羽小学校用地選定の経過を中間報告します

<http://d.hatena.ne.jp/sukeru1228/20060111>

■各候補地、あえてどれかひとつをけずろうとすると、どうなるかの考察

<http://d.hatena.ne.jp/sukeru1228/20060116>

■候補地に行ってみよう「現地視察」

<http://d.hatena.ne.jp/sukeru1228/20051109>

2006-02-06 次回のための打ち合わせ

■[運営]次回のための協議 08:39

朝から教育委員会に半日詰めて、次回のために、前回のWSの振り返りとシュミレーション。課長、Hさん、若手のYさん、Kさん。若手の目線がだんだんと市民目線になってきている。まちの仕組みが、まだ「協働型」になっていないことの負担はすべて現場に来てしまう。誰が悪いわけではない。ただ見えるようになりつつあることがひとつの希望だ。対話型の鳥羽市、夜明け前のほの暗さ。

2006-03-06 ★現在の鳥羽市の検討経過ライブレポート



■[鳥羽小]★現在の鳥羽市の検討経過ライブレポート(1) 08:35

以下、これまでの経過を教育委員会が各地へ足を運んで説明し、皆さんの思いを聞かせていただきました。

■鳥羽小学校 PTA へ、現在の経過説明をしました。

■ライオンズクラブへ、現在の経過説明をしました。

(市民会議委員 Dさんの依頼により)

■坂手の皆さんへ、現在の経過説明をしました。

■小浜の皆さんへ、現在の経過説明をしました。

(3月2日)

■[鳥羽小]★現在教育委員会で検討中の事柄 08:38

■概要

鳥羽市として検討をしたい「スカイライン」と「堅神」の二候補地について懸案事項を整理し検討と調査を続けています。

■堅神について

近鉄さんと、子どもたちの通学の安全安心と利便性のためにご協力をいただけるようにお話をつづけています。実現性という点からはハードルは低く実務的に検討することは少ないです。ただ、校区の北端であり、将来の坂手、小浜の統合を考えると地元の皆さんのできる限りの納得が必要ですから、現在の議論の経過を校区の皆さんには説明をする機会を随時つくって行きます。

■スカイラインについて

ここは、実務的にほんとうにできるのか？検討しなければならない事項は多いです。

- 1 国道からの通学路、スカイラインを通学路にそのまま使うことはむずかしく、スカイラインを管理しておられる会社からゆずっていただく事は困難です。交渉を続けていますが、道路を使わせていただく場合は**年間の使用料**が発生するとのことです。
- 2 JR 駅前から**国道を**通って**通学**する途中経路の安全が確保できるのかどうか、検討中です。この経路は**死亡事故**なども最近起こり、とにかく事故の多い道です。子どもたちが歩道から道路に飛び出す可能性はガードレールなどで囲ったにしてもゼロではありません。鳥羽小 PTA の皆さんも一番心配している点です。また、整備するために土地を取得する必要がある可能性もあり、当該地権者の方の協力がどれだけ得られるかは、まだわからないと言います。
- 3 やきめし 方面からの通学路を確保するためにスカイラインの管理をされている会社は協力をしていただけるとのようです。

- 4 日和山ほど範囲は広くありませんが、**埋蔵文化財の調査は必要**です。**経費と工期が余分**にかかります。また機械を入れて調査することは**むずかしそう**で、**手掘りになる**かもしれません。
- 5 大部分の土地を持っている提案者の企業の方の現在の予定は、もし決れば鳥羽小学校用地にあたる部分を提供いただけますが、**周囲の土地の宅地造成**などをする**ことは考えていない**、ということです。
- 6 **地権者の一人の消息がまだ確定していません**。

■**いろいろと検討を続けています。**

以上のように、鳥羽市は教育委員会を中心に、出来る限り皆さんにご理解をいただけるように、懸案事項を検討中です。また、随時校区の皆さんを中心に説明する機会も創りつづけています。**地味ではありますが、少しずつ前に進んでいますので、ご安心ください。**

2006-03-13 鳥羽小学校 PTA で、用地選定のアンケート

■**[鳥羽小]鳥羽小学校 PTA で、用地選定のアンケート 12:13**

鳥羽小学校 PTA で、用地選定のアンケート回収完了。かなりの回収率のようです。現在集計中とのこと。

2006-03-23 次回開催日は！



■**[鳥羽小]次回 市民会議開催が急遽決定！ 19:53**

■平成 18 年 3 月 30 日午後 7:00

■鳥羽市民文化会館(中央公民館)

どなたでも傍聴できますので、お気軽に参加ください。

また、市民会議、本会議に先駆けて、幹事会が開かれます

■幹事会

■平成 18 年 3 月 28 日午後 7:00

■鳥羽市教育委員会

■[鳥羽小]鳥羽小 PTA の皆さんが市長へ要望書とアンケートを渡しました。 19:53

22 日 AM9:00 市長室にて、鳥羽小 PTA と同建設委員会の皆さんが市長と会談、その様子は中日新聞に掲載されています。

市長は、「要望を重く受け止め、今月中に市民会議を開き、用地を決定したい」旨発言をされました。

アンケートの結果、どこが良いかという問いに対して

約 60% が、堅神

約 20% は、スカイライン

その他 どちらでもない、が残り。

となりました。

■[鳥羽小]現在の状況のおさらい 20:10

★現在の状況について

堅神、赤崎、スカイライン、日和山、の四候補になった時点で、ここから先の意思決定は、どうしても大きく鳥羽市のまちづくりの方向性に関わるということで、きちんとした説明責任を

市民会議に対して果たす、という条件付で鳥羽市にここから先はゆだねる、ということで合意しました。

★ここまでのあらすじは 以下にあります

「鳥羽小学校用地選定の経過を中間報告します」

<http://d.hatena.ne.jp/sukeru1228/20060111>

★どの場所もほんとうに決めてがない、という事の考察は以下

『各候補地、あえてどれかひとつをけずろうとすると、どうなるかの考察』

<http://d.hatena.ne.jp/sukeru1228/20060116>

そして 1/31 鳥羽市から日和山、赤崎をけずり、かたかみとスカイラインのふたつで検討したいと意思表示がありましたが、すんなりと納得はいかず、鳥羽市は継続検討、市民会議に説明責任を果たす、ということになりました。

★そのレポートは以下

『鳥羽市から提案された候補地案を検討しよう』

<http://d.hatena.ne.jp/sukeru1228/20060131>

現在、実務的な懸案事項を検討し、かつ、校区などへ途中経過を説明しています。

★以下レポート

『現在の鳥羽市の検討経過ライブレポート』

<http://d.hatena.ne.jp/sukeru1228/20060306>

■候補地に行って実際に見てみよう「現地視察」

<http://d.hatena.ne.jp/sukeru1228/20051109>

2006-03-30 鳥羽市からの提案を聞いて、子どもたちのために決断しよう第七回



■[鳥羽小]鳥羽市からの提案を聞いて、子どもたちのために決断しよう 08:48

(写真は、白熱した議論の途中、いよいよ市長の思いを聞く、というところでお茶して休憩タイムをとる委員の皆さん、オブザーバーの皆さん)

■これが結論です。

★鳥羽市からの提案

鳥羽小学校(将来的に小浜小学校及び坂手小学校との統合を考える)に望ましいとした選定地区

として、

★堅神地区(堅神公民館の裏山の土地)を推薦します。

★市民会議からの提案

鳥羽市の提案を受け入れるための条件=ただしがき

ただし、すべての子どもたちが安心して通える状況をつくります。

そのために、スクールバス機能の実現を目指して議論をすすめていきます

そして、地域の方、PTAの皆さんを含めて具体的に検討してゆく場を設けます。

★出席委員 24 名中 19 人が、上記条件(スクールバス機能の実現を強く望む)で賛成しました。

賛成多数で、鳥羽市からの提案(+市民会議からの提案した、ただしがき付)を受け入れると
いうことを、本会議の公式の意志とすることが承認されました。

手を上げなかった委員の意見は、

- 1 学区として北の端である以上スクールバス機能の実現は不可欠であり、まだ明確に約束されていないと感じた、など鳥羽市への不信感
- 2 坂手の統合に関しては反対という思いを伝える立場にあるから。ただ堅神がだめだということではない。

などでした。

■アドバイザー浅野先生の所見(川村の聞き取り記憶による書き取り)

一番大切なことは、皆さんが最後までテーブルにつきつづけ、明確にひとつの用地案に絞るという結論を出し、市民会議の目的を果たされたこと、このプロセスと成果を大切にしてください。

前回の用地選定懇話会との違いは、市長も第一回からずっと市民会議に出席されたことです。これによって鳥羽市は市民委員の皆さんと、より切実に課題を共有し、そしてお互いにみんなで決めたことを実現させるための責任を共有できたと言えます。

細かいところの違いはこれから議論をしていけば良いことで、大切なのは、大きな方向性をまがりなりにも決めたということです。市民委員の中には、PTA 関係者以外に、学区内町内の代表の方、観光関係の方や議員の方もみえるわけで、この用地案を一丸となってサポートして実現につなげてゆく責任を分かち合いました。そのことを自覚してください。

前回の懇話会の頃から、さまざまな用地案が出されましたが、やはり、土地の限られた鳥羽市では、ほぼ同じ用地案が最後まで残ったと言えます。何度仕切りなおしたとしても同様

の結論に行き着くでしょう。つまり、この機会を逃せば、ほんとうにもう代替案はないということです。ちいさな違いを乗り越えて、子どもたちのためにがんばりましょう。

私もサポートできる場所は、力になりたいと思います。おつかれさまでした



★用地選定市民会議がはじまりました！

2005/09/29 (木)

「オリエンテーション」

～ふたたび同じテーブルにつこう

- ・ワークショップですすすめます。工夫してみんな対等で意見を出せる場にします
- ・アドバイザーが公平に中立に、場をCheckします。
- ・言葉のキャッチボールをもっともっと十分にしましょう。
- ・旧懇話会の反省を踏まえて、後戻りをしないように…
- ・まちづくりとの整合性、観光のまちづくりも大切です。…など、このようなことを話し合い、合意しました。

その他

- 座長、副座長、幹事を決めました
- 鳥羽小学校用地選定市民会議の目的を決めました

■鳥羽小学校用地選定市民会議の目的（順番は優先順位です）

- 1 子どもたちの未来のために、しあわせのためにを第一に考えて、ふさわしい鳥羽小学校用地を選定する。（候補地をひとつにしぼる）
- 2 鳥羽のこれからのまちづくりとの整合性を考慮した上で用地を考える。特に観光のまちづくりへの影響に留意する。
- 3 できる限り、早期実現を目指しうる用地としたい。けれども、市民会議において十分納得のいく議論を積み重ね、必要なプロセスであればあえて「急がば回れ」も辞さない。
- 4 市民、行政、企業、が信頼関係を深め、協働のスタンスや仕組みが鳥羽にいきづくようなプロセスをとともに創ってゆく

■市長立会いのもと、鳥羽市からの約束と鳥羽小学校用地選定市民会議の基本方針を決めました

★ここが正式な「市民と行政との協働の場」です。

鳥羽市は、ここで決ったことを最優先で取り上げます。

第1回 用地選定市民会議 2005/10/12 (水)

「候補地を知ろう」

■検討したこと

1. アンケート結果発表（ふさわしいと思うところ、ふさわしくないと思うところ）
2. 候補地を理解しよう
（実現性の度合いをガイド、あくまで参考）
3. 候補地の良いところ・悪いところは？
4. 鳥羽小用地のふさわしさ最も重要視する
決め手はなに？（会議終了時にアンケート）

■会議の成果は裏面に！

昨年の用地案が断念されて再度招集された、新しい「市民会議」です。

今回は木田市長が、最初にその経緯や、小学校建設への意気込みを語る場所から始まりました。

最初は、オリエンテーション。委員の皆さんが再びテーブルにつき、小学校が建つまで、こどもたちのために大人としての責任を果たそう…決意を新たにしました。

■8つの候補地が公募により提示されました

締切の9月22日までに、公募に応じた鳥羽小学校用地候補地は以下の通りでした。

- ①鳥羽1丁目
日和山
- ②鳥羽5丁目
若竹団地の南側山
- ③鳥羽1丁目
ドライブ 伊鳥羽の向側
- ④鳥羽3丁目
城山児童公園
- ⑤鳥羽1丁目
とば美台の裏山
- ⑥堅神町
堅神公民館横
- ⑦鳥羽5丁目
赤崎神社の裏山
- ⑧鳥羽1丁目
ドライブ 伊鳥羽の裏側

子どもたちの未来のために、しあわせのためにを第一に



■第1回 会議レポート

★第1印象アンケートの結果

会議メンバーに事前に、候補地がどこが一番ふさわしいか、逆にどこが一番ふさわしくないか、第一印象のアンケートを取りました。その結果を会議の冒頭で披露するところから始めました。

一番の注目は、今回新しく提案された「①日和山」でした。学区の中心部にあること、通学の便がいいなど、子どもを通わせる当事者の立場からの評価は高いのですが、観光のまちとして、日和山をどうとらえるかで、「観光と教育の融合」という立場と、観光資源としての開発可能性を残すべきという立場で議論が occurred しました。

「③城山」は人気も高い代わりに不人気度も高く、かつ、法規制などの実現性、公募条件である面積を単独では満たさず、上運動場を活用する案であるということが「実現困難性」が極めて高いと教育委員会から報告されました。

もう一箇所「⑧ドライブイン鳥羽の裏側」も、土地の形状から公募面積を確保できないことがわかり、かつ、工業地域にかかるために、現状の用途規制から学校をたてるのは極めて困難という報告がされました。

ちなみに、鳥羽小学校PTAが行った保護者アンケートでは、「日和山」が一位、ついで「堅神」と、人気は二分され、その他の用地を推す人はバラバラでした。

★長所と短所を書き出す

「日和山」と「城山」で時間がかかってしまい、後半はかけあしで各候補地の長所、短所のアイデア出しをしました。関心の薄い用地、「良いところ」がひとつもない用地などもありました。

★絞り込みは次回へ

今回の時点では、候補地を足切りすることはせず、次回に精査することとしましたが、「第一回目から(可能性が薄い用地でも)いきなりアシキリするのはいかがなものか」という意見と、「いつかは絞らねばならない。提案者に配慮するならば、逆に出来るだけ早くダメならダメと結論付けるべきだ」という両方の意見が出ました。

次回は、各候補地が「小学校建設にふさわしいか」を検証・議論し、絞り込みを進めていきます

■検討した成果はホームページで詳しく公開しています

○鳥羽市役所→鳥羽小学校用地選定のページ

<http://www.city.toba.mie.jp/kakuka/kyoui/soumu/youtisentei/>

※鳥羽小学校PTA 建設委員会が保護者の皆さんに、鳥羽小学校の用地としてどこがふさわしいか？というアンケートの結果も掲載しています。

■実現性の度合いを減点法で表現(参考)

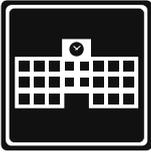
市民会議の事前準備として市役所関連部署の実務者ワークショップを行っています。まずは「候補地の法規制から整理しよう」ということで、実現可能かどうか、問題はないかどうか、各候補地についてチェックしていきました。

その結果を非常に困難(赤)を-2点、困難(黄色)を-1点として、各候補地の実現性の度合いを参考に減点法で表現してみました。

- ①日和山
-1
- ②若竹団地の南側山
-6
- ③ドライブイン鳥羽の向側
-4
- ④城山児童公園
-8
- ⑤とば美台の裏山
-6
- ⑥堅神公民館横
-2
- ⑦赤崎神社の裏山
-4
- ⑧ドライブイン鳥羽の裏側
-8

※数字が大きい方がより「実現が困難」ということとなります

★この用地選定市民会議は、どなたでもオブザーブ(傍聴)可能です。



★用地選定市民会議が進められています！

第2回 用地選定市民会議 2005/10/28 (木)

「候補地を大きく絞ろう」

いよいよこの場で、候補地の絞込みを始めました

■検討したこと

1. 3つの候補地の説明 (①日台山、④城山児童公園、⑧ドライブイン鳥羽の裏側)
2. 候補地を絞れますか？



結果として…

「④城山児童公園」と「⑧ドライブイン鳥羽の裏側」は、学校建設用地の面積確保が困難であるという理由から、今回、候補地から外すということになりました。ご提案いただいた方々、また、ご支援いただいた方々に厚くお礼申し上げます。

●城山児童公園

- ・学校建設用地の面積確保が困難である。
- ・城山児童公園に建設する場合、公園内に建設ということで、自ずと公園がなくなってしまう。その場合、都市計画法で城山公園は「街区公園の指定」を受けているため、周囲250メートルの範囲で代替地を用意する必要がある。(代替適地が確保できるか？)

●ドライブイン鳥羽の裏側

- ・学校建設用地の面積確保が困難である。

■第2回 会議レポート

前回の各用地の「実現性資料」を踏まえて、今回、候補地を絞っていくために事務局から提案がされ、上記3つの候補についてまず検討することになりました。

★日台山で新しい課題が明らかになりました

前回の会議では、文化財のエリアからはずれていると説明しました。しかし、三重県の協力を得て現地の再調査をしたところ、日台山全体が「埋蔵文化財」の指定エリアに入り、もし造成などを行うのならさらなる調査が必要であること。そして「日台山」の歴史的価値に思いいれのある市民が少なからずいることと、観光資源としての価値とあいまって、期間、費用の面など一連の手続きを踏む必要があることがわかりました。

■鳥羽小学校用地選定市民会議の目的 (順番は優先順位です)

1. 子どもたちの未来のために、しあわせのためにを第一に考えて、ふさわしい鳥羽小学校用地を選定する。(候補地をひとつにしぼる)
2. 鳥羽のこれからのまちづくりとの整合性を考慮した上で用地を考える。特に観光のまちづくりへの影響に留意する。
3. できる限り、早期実現を目指しうる用地としたい。けれども、市民会議において十分納得のいく議論を積み重ね、必要なプロセスであればあえて「急がば回れ」も辞さない。
4. 市民、行政、企業、が信頼関係を深め、協働のスタンスや仕組みが鳥羽にいきづくようなプロセスをともに創ってゆく

■8つの候補地

(公募により提示)

- ①鳥羽1丁目
日台山
- ②鳥羽5丁目
若竹団地の南側山
- ③鳥羽1丁目
ドライブイン鳥羽の向側
- ④鳥羽3丁目
城山児童公園 →候補外に
- ⑤鳥羽1丁目
とば美台の裏山
- ⑥堅神町
堅神公民館横
- ⑦鳥羽5丁目
赤崎神社の裏山
- ⑧鳥羽1丁目
ドライブイン鳥羽の裏側
→候補外に

子どもたちの未来のために、しあわせのためにを第一に



小浜、坂手島との統合を考慮しているため、特に離島などからのアクセスや学区の中心に近い点など、統合に関するメリットを切実に望む方、それからマリントウン構想と連携して「観光、史跡と教育の融合」のまちづくりのエリアとして実質上遊休地である日和山を今こそ活用すべきだという方や、PTAの方たちの人気を集中させていた「候補地」であるだけに課題を受け止めるのに時間がかかります。

また「日和山」の今回判明した課題を、委員の皆さんがまず受け止め、周りの人たちに伝える説明責任もあるということで、一足飛びに候補地からはずすということにはなりません。

以前のいきさつについても調査をしますが、それはさておき、今までとは違い、致命的になる前に問題を事前にCheckできたことは、良かったことです。議論は白熱し、声を荒げる場面もありましたが課題は課題として受け止め、さらに詳細な調査をすることと、委員としても「日和山も含めて候補地みんな、現地を歩いて確かめよう」という前向きな提案が座長から出され、一歩前に進むことができました。

★残った6つの各候補地をさらに吟味

前回の資料に加えて、よりイメージしやすいように、候補地の地図上に学校ができるとしたら…という資料図面を引き、概算費用の試算をしたものを作り、委員のみなさんに説明をしました。それに対し、熱心な質問や意見交換がされました。

★2回目のみなさんの印象は？

最後に今回の検討結果でどういう印象であったか、参考意見として「どの候補地がもっともふさわしい？もっともふさわしくない？」という印象アンケートを行いました。これはあくまでも参考で、ここからまた議論をして、絞り込みが続きます。

★候補地に行って実際に見てみよう

座長の提案により、実際に候補地にあがっている場所に行って、心と身体で「見てみる」ことも大切だということになり、2回に分けて候補地を見に行きました

■1回目 11/07 (月) AM9:00～

■2回目 11/09 (水) PM1:00～

歩いてるときに、ただ漫然と見るのではなく、Checkリストを手に、書き込みながら回りました。

一番の切実な用地のふさわしさを計るポイントは、

★学区の中で統合も考えて通学を考えて、良い位置にあるか？

★安全安心な通学路、進入路が確保できるのか？

…ということでした。

この結果で次回はさらに候補地を絞り込んでいきます

■日和山は「鳥羽城」よりも古いお城の跡、知っていましたか？

日和山は、なんでも九鬼の殿様以前の城跡だそうです。高城城(たかぎじょう)というそうです。

室町時代の、もしかしたら歴史的にとっても貴重かもしれない「石積み」が埋まっている可能性もあるそうです。



■この会議には、木田市長も出席し、実現に向けて、鳥羽市と市民が一緒に取り組んでいます

★この用地選定市民会議は、どなたでもオブザーブ(傍聴)可能です。

■検討した成果はホームページで詳しく公開しています

○鳥羽市役所→鳥羽小学校用地選定のページ

<http://www.city.toba.mie.jp/kakuka/kyoui/soumu/youtisentei/>

※鳥羽小学校PTA 建設委員会が保護者の皆さんに、鳥羽小学校の用地としてどこがふさわしいか？というアンケートの結果も掲載しています。

■お問い合わせは 鳥羽市教育委員会へ。TEL 25-1262

■鳥羽小学校用地選定市民会議の目的

2005年9月29日

合意済

優先順位	内 容
1	子どもたちの未来のために、しあわせのためにを第一に考えて、ふさわしい鳥羽小学校用地を選定する。(候補地をひとつにしぼる)
2	鳥羽のこれからのまちづくりとの整合性を考慮した上で用地を考える。特に観光のまちづくりへの影響に留意する。
3	できる限り、早期実現を目指しうる用地としたい。けれども、市民会議において十分納得のいく議論を積み重ね、必要なプロセスであればあえて「急がば回れ」も辞さない。
4	市民、行政、企業、が信頼関係を深め、協働のスタンスや仕組みが鳥羽にいきづくようなプロセスをともに創ってゆく

約束番号	鳥羽市から当会議メンバーへの約束
1	ここが正式な市民と行政との協働の場です。
2	鳥羽市は、ここで決ったことを最優先で取り上げます。
約束番号	鳥羽小学校用地選定市民会議の基本方針(市長も例外ではありません)
3	ここでみんなで決めたことは、みんなで後押ししよう。自分の意見とは違う結果になったとしても会議で決めたことは尊重しよう。

■用地選定議論のやり方イメージ(参考資料ver 2.0)

■協働型(評価)方式	■従来の委員会方式
多様性尊重 目的が明確	覇権的 目的からずれやすい
客観 相対評価	主観 絶対評価
他の立場の意見を ルールが尊重してくれる	他の立場の意見と 対立構造、力関係で意思決定
主体が見えにくい 推進力 小	主体的 推進力 大
責任分散 ★結果への違和感も分散	委員長の責任重い ★少数者に違和感が集中

★当市民会議では、協働型方式で進行しています。

★違和感に耐えよう

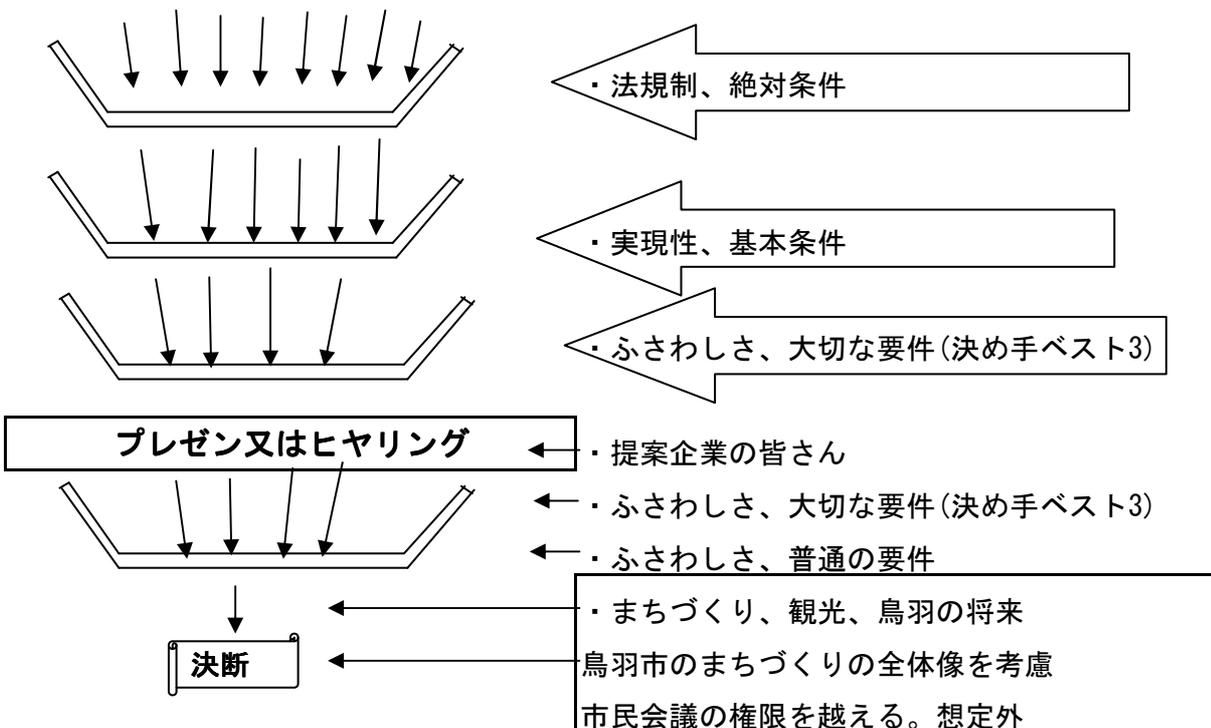
違和感があることこそ他の立場の人の価値観に敬意を払っている証拠

★当たり前のことほど食い違う

★価値と価値をすりあわせ第三の道を探り続けよう

■候補地 絞り方のイメージ(参考資料)

決め手→ふさわしさ でふるいにかける この前の ・アンケート/PTA ベスト3



作成 NPO法人伊勢志摩NPOネットワークの会 川村 透

■鳥羽小学校用地選定市民会議

2005/09/29 (木) 19:00~21:00 鳥羽市民文化会館

主催： 鳥羽市
教育委員会

■「オリエンテーション」～ふたたび同じテーブルにつこう		
19:00	STEP1 (10分)	1 挨拶・趣旨説明 (市長、教育長、座長、浅野先生)
19:10 ↓	STEP2 (10分)	2 目的の共有と合意、議論の前提確認 ★別紙参照 概要：鳥羽小学校にふさわしい建設用地を選定する ★小浜(案)と現地建て替え、リフォームは、なし。 ★公募に応じた候補地のみを対象とする。後出しは、なし。
19:20 ↓	STEP3 (15分)	3 今までの取り組みと現状 ★～早分かり鳥羽小学校用地選定今までの流れ 1 懇話会以前のいきさつ 2 用地選定懇話会とは？ 3 候補地はいくつあった？どんな風に絞られた？ 4 ものさしで候補地のふさわしさを評価、そのいきさつ 5 懇話会の意義と問題点 6 市長へ申し入れされたからのいきさつ 7 ★教えて用地選定質問TIME
19:35 ↓	STEP4 (10分)	4 約束の共有と合意 1. 運営方法(ファシリの役割、アドバイザーの役割) 事務局の役割、メンバーの役割、 協働型会議(WS)とする旨。中立性の確保について、正副座長を募集 推薦、幹事依頼、運営会議 2. タイムスケジュール、こんな感じで進めます 3. 得たい成果と、その成果を鳥羽市がどのように受け止 め、生かすのかその手続きと意思決定についてきちん と約束をする 4. 情報公開の方法、機会の確保、その他
19:45	STEP5 (5分)	5 休憩
19:50	STEP4 (60分)	6 候補地の概要を知ろう ★公募に応じた各候補地の概要説明
20:50	STEP4 (5分)	6 アドバイザーの言葉
20:55 ↓ 21:00	STEP6 (5分) END	7 今回の成果の確認と次回の説明 ★次回の日程、その他 ★宿題 ★締めの挨拶

♪おつかれさまでした
進行 NPO法人伊勢志摩NPOネットワークの会

■鳥羽小学校用地選定市民会議 第一回

2005/10/12 (水) 19:00~21:00 鳥羽市民文化会館

主催： 鳥羽市
教育委員会

■候補地を理解しよう、実現性から、大きくCheckしよう

19:00	STEP1 (5分)	1	挨拶・趣旨説明 (市長、教育長、座長、アドバイザー)
19:05	STEP2 (10分)	2	前回の振り返り 目的、約束、基本方針、合意事項
19:15	STEP3 (10分)	3	ハガキ・アンケート発表 ★もっともふさわしい◎ /もっともふさわしくない×
19:25	STEP4 (20分)	4	候補地を理解しようPart1 ★★重要 ●実現性Check 8箇所を一括で説明→質問Time 法規、制限、実現性を信号のように赤、青、黄色で表現
19:45	STEP5 (5分)	5	休憩
19:50	STEP6 (55分)	6	候補地を理解しようPart2 ★時間が足りなければ次回 ●各候補地の良いところ悪いところ(人気の高いところと低いところに集中) ★PTAのアンケートの成果も参考にしよう ものさしを参考にみんなで意見だし。反論も率直に出そう
20:45	STEP7 (10分)	6	候補地を少しでも絞れますか？ 今回の結果を吟味して下位の候補地について吟味
20:55	STEP8 (5分)	7	今回の成果の確認と次回の説明 ★次回の日程、その他 ★宿題 ★締め挨拶、所見
21:00	END		

★参考資料

●鳥羽小学校PTAによる用地のふさわしさのものさしを旧懇話会で合意したもの

- 1 安全に通学できる場所
- 2 広い運動場が取れて、こども達がのびのびできる場所
- 3 地域の人が見守りやすく、安心できる場所
- 4 地震・津波の心配のない場所
- 5 自然環境が豊かな場所
- 6 汚染や騒音がなく、環境の良い場所
- 7 将来的の学校統合も考えた上でふさわしい場所
- 8 地域の人とも関われる場所
- 9 日当たりの良い場所

●上記、1, 2, 3は最重要事項、4, 5は次に優先すべき事項、以下できれば考慮したい事項、です。

●「用地が早く手に入る」というものさしは、実務者のものさしとし、市民ものさしからははずしました

★その他鳥羽市全体として考えられる「ものさし」(案)

実務者WS及び申し入れ書より

費用	安全安心・通学路	学区の統合性
工事の難易度	安全安心・地震、津波	まちづくりとの整合性
いつ開校できるか？	安全安心・見守りやすいか	観光影響性
地権者と交渉しやすいか		

足切基準(案)

危険
実現極めて困難
費用限度超え
工期限度超え

■鳥羽小学校用地選定市民会議 第二回

2005/10/28 (金) 19:00~21:00 鳥羽市民文化会館

主催： 鳥羽市
教育委員会

■候補地を大きく絞り込もう		
19:00	STEP1 (5分)	1 挨拶・趣旨説明 (市長、教育長、座長) アドバイザ欠席 ・候補地を絞りましょう。こどもたちのために。提案者に敬意を忘れずに
19:05	STEP2 (10分)	2 前回の振り返り(ニュース・レターをみてください) ・候補地の長所、短所おさらい ・注目の候補地の議論
↓		
19:15	STEP3(10分)	3 候補地が絞れますか？(第1段階) 事務局提案 ・公募条件をクリア出来ない2候補 ・絞るべき候補地とは？ ・なぜそれを絞るのか？ ★合意できますか？
↓		
19:25	STEP4(70分)	4 各候補地を吟味しよう～子どもたちの未来のために～ ●日和山の新たな課題と投げかけ ・二次調査で明らかになった埋蔵文化財問題 ・投げかけ ●吟味のポイント ・宿題への回答 ★相対評価です。順位に注目
↓	休憩含む	
20:00	途中休憩(5分)	●実現性と基本条件による吟味
20:05		★法規制★費用★通学路★工期★難易度★安全安心(津波、地震、環境) ●鳥羽小用地としての「ふさわしさ」大切な三つによる吟味 ★安全安心な通学路か？★地域で見守りやすく安心か？ ★学校の統合性 ★★前回のアンケート成果より
20:40	STEP5(10分)	5 候補地をさらに絞りませんか？(第2段階) 第二印象アンケート →最高+1 最低-1 (実践的ハタアゲ) 今回の結果を吟味して下位の候補地を絞りましょう
20:50	STEP6(5分)	6 今回の成果の確認と次回の説明 ★次回の日程、その他 ★宿題 ★締め挨拶、所見(アドバイザーからの伝言)
↓		
21:00	END	

♪おつかれさまでした

進行 NPO法人伊勢志摩NPOネットワークの会

■鳥羽小学校用地選定市民会議 第三回

2005/11/22 (火) 19:00~21:00 鳥羽市民文化会館

主催： 鳥羽市
教育委員会

■候補地を大きく絞り込もう 2

19:00	STEP1 (5分)	1	挨拶・趣旨説明 (市長、教育長、座長、アドバイザー)
			・候補地を絞りましょう。こどもたちのために。提案者に敬意を忘れずに
19:05	STEP2 (10分)	2	前回の振り返り (ニュース・レターをみてください)
			・外した候補地 ・主に日和山の課題 ・現地を歩いてみよう ・ふさわしさの決め手は何(ものさし) ・今日やること確認
↓			
19:15	STEP3 (40分)	3	候補地を吟味しよう ~現地を歩いて見てきました~
			(ふさわしさの決め手は?) ・概要の説明 ・6箇所×5分
↓			・見てきた人が印象を語る 10分
			・アンケート内容・質疑
			・通学路の安全
			・見守りやすい?
			・学区統合性まちづくり
19:55	途中休憩 (5分)	アンケート集計	
20:00	STEP4 (10分)	4	候補地を絞りませんか?
			・幹事会からの提案
			・なぜそれを絞るのか?
			・候補地Aをはずしますか?
			・候補地Bをはずしますか?
↓			
20:10	STEP5 (30分)	5	埋蔵文化財問題等について吟味する
			・日和山 ・スカイライン その他
			・三重県と鳥羽市の協議の内容を共有する
↓			
20:40	STEP6 (10分)	6	候補地を絞りませんか? 2
			・幹事会からの提案 (原案) 投げかけ
			・今回の結果を吟味して候補地をさらに絞れませんか?
			第三印象アンケート →最高+1 最低-1 (実践的ハタアゲ)
↓			
20:50	STEP7 (10分)	7	今回の成果の確認と次回の説明
			★次回の日程、その他 ★宿題
			★締め挨拶、所見
↓			
21:00	END		

♪おつかれさまでした

進行 NPO法人伊勢志摩NPOネットワークの会

■鳥羽小学校用地選定市民会議 第四回

2005/12/07 (水) 19:00~21:00 鳥羽市民文化会館

主催： 鳥羽市
教育委員会

■埋蔵文化財問題について理解を深めよう

19:00	STEP1 (5分)	1	挨拶・趣旨説明 (市長、教育長、座長、講師紹介、アドバイザー欠席)		
・埋蔵文化財問題について理解を深めよう、もやもやをスッキリにしたい					
19:05	STEP2 (5分)	2	前回の振り返り		
・外した候補地 ・主に日和山の課題 ・現地を歩いてみました ・ふさわしさの決め手は何(ものさし) ・埋蔵文化財、比較表					
19:10	STEP3 (40分)	3	埋蔵文化財問題について理解を深めよう		
・レクチャー(30分) <table border="1" style="float: right; margin-left: 20px;"> <tr> <td> ・県教育委 文化財保護室 ・山田 猛 氏 </td> </tr> </table> ・質疑(10分)				・県教育委 文化財保護室 ・山田 猛 氏	
・県教育委 文化財保護室 ・山田 猛 氏					
「埋蔵文化財の保護と地方自治」 文化財って何? なぜ残すの? 県の役割、市の役割は? これだけは聞いておきたい、Q&A					
19:50	途中休憩(10分)	会場設営 2班に分かれます			
20:00	STEP4 (50分)	4	フリートーク～思っている事をどんどん出して共有しよう～		
↓ ・フリートーク(40分) (考えタイム含む) ・発表(10分)					
		1班 大松座長 (+川村)	<table border="1" style="float: right; margin-left: 20px;"> <tr> <td> ①運営について ②候補地について ③その他 ★意見、疑問 </td> </tr> </table> <table border="1" style="float: right; margin-left: 20px;"> <tr> <td> 思っている事 伝えたい事 フリーに出して 共有しよう </td> </tr> </table>	①運営について ②候補地について ③その他 ★意見、疑問	思っている事 伝えたい事 フリーに出して 共有しよう
①運営について ②候補地について ③その他 ★意見、疑問					
思っている事 伝えたい事 フリーに出して 共有しよう					
		2班 中村副座長 (+もりもと)			
20:50	STEP5 (10分)	5	今回の成果の確認と次回の説明		
↓ 21:00 END					
★次回の日程、その他 ★宿題 ★締め挨拶、所見					

♪おつかれさまでした

進行 NPO法人伊勢志摩NPOネットワークの会

■鳥羽小学校用地選定市民会議 第五回

2006/01/10 (火) 19:00~21:00 鳥羽市民文化会館

主催： 鳥羽市
教育委員会

■四つの候補地を整理して決め手は何か？を決めよう				
19:00	STEP1 (5分)	1	挨拶・趣旨説明 (市長、教育長、座長、アドバイザー欠席) ・ 絞り込む決め手を議論しよう	
19:05	STEP2 (10分)	2	前回の振り返り ・ 大前提、目的 ・ 四つに絞り込んだ ・ 日和山と文化財 ・ 埋蔵文化財、フリートーク	
19:15	STEP3 (50分)	3	提案者とのヒヤリングの成果を共有して条件を整理しよう	
↓			① 地権者 との交渉	② 費用など
			③ 通学路 安全安心	④ 子どもたちの 未来のために
			日和山	
			スカイライン	
			かたかみ	
			赤崎	
20:05	途中休憩 (5分)			
20:10	STEP4 (40分)	4	鳥羽小用地を決める、「決め手」は何だろう？ ・ 幹事会からの提案 ・ 市民のものさしで絞れますか？ ・ 決め手は何だろう？ ・ 教育委員会の見解	
20:50	STEP5 (10分)	5	今回の成果の確認と次回の説明 ★次回の日程、その他 ★宿題 ★締め挨拶、所見	
21:00	END			

♪おつかれさまでした 進行 NPO法人伊勢志摩NPOネットワークの会

■鳥羽小学校用地選定市民会議 第六回

2006/01/31 (火) 19:00~21:00 鳥羽市民文化会館

主催： 鳥羽市
教育委員会

■鳥羽市から提案された候補地案について検討しよう

19:00	STEP1 (5分)	1	挨拶・趣旨説明 (市長、教育長、座長、アドバイザー欠席) ・目的とルール・ テーブルに付き続けよう(浅野先生のアドバイス)
19:05	STEP2 (10分)	2	前回の振り返り ・座長から提言書を渡す ・提言書内容でふりかえる市民会議 ・問題点の整理
↓			
19:15	STEP3 (10分)	3	アイスブレイク(議論のための肩慣らし) ・身体を動かして市民委員の思いを示そう ・議論に臨むための肩慣らしをします
↓			
19:25	STEP4 (85分)	4	鳥羽市からの提案を吟味しよう 1 提案の概要 2 望ましい教育環境と学区統合のビジョンとは？ 3 鳥羽市のまちづくりの方向性 市長の思い 決め手となる価値観とは何か？ 特に、「日和山」をどう生かすのか？ 4 各候補地検討事項の報告 5 質疑応答 6 さあ、市民会議はどう受けとめましょう？
↓			
20:50	STEP5 (10分)	5	今回の成果の確認と次回の説明 ★次回の日程、その他 ★これからの課題は？ ★締め挨拶、所見
↓			
21:00	END		

♪おつかれさまでした

進行 NPO法人伊勢志摩NPOネットワークの会

■鳥羽小学校用地選定市民会議 第七回

2006/03/30 (木) 19:00~21:00 鳥羽市民文化会館

主催： 鳥羽市
教育委員会

■鳥羽市からの提案を聞いて、子どもたちのために決断しよう		
19:00	STEP1 (5分)	1 挨拶・趣旨説明 (市長、教育長、座長、アドバイザー) ・目的とルール・ テーブルに付き続けよう
19:05	STEP2 (10分)	2 前回の振り返り ・ 提言書内容でふりかえる市民会議 ・ ライブレポートで前回は振り返る
↓		
19:15	STEP3 (10分)	3 前回市民会議以降の検討経過報告 ・ 堅神について ・ スカイラインについて ・ 経過説明 ・ 鳥羽小PTAからの要望
↓		
19:25	STEP4 (85分)	4 鳥羽市からの提案を聞いて決断しよう 1 提案の概要 2 教育委員会の考え方 3 実務的なPOINT 4 幹事会で議論したこと 赤崎とコスト、日和山とまちづくり、安全安心通学路 学区の統合性とスクールバス 5 市長の思い、未来の鳥羽市と、子どもたちのために 6 質疑応答 7 さあ、決断のとき？
↓		
途中休憩10分		
20:50	STEP5 (10分)	5 今回の成果の確認と次回の説明 ★次回の日程、その他 ★これからの課題は？ ★締め挨拶、所見
↓		
21:00	END	

♪おつかれさまでした

進行 NPO法人伊勢志摩NPOネットワークの会

■協働コーディネーター日誌

NO	日付	曜日	鳥羽小学校	人工
1	2005/7/11	月	19:00鳥羽市から懇話会への説明会(アドバイザー)	0.3
2	2005/7/15	金	19:00鳥羽小PTAと市長との懇談	0.3
3	2005/7/29	金	17:30議員への説明と交渉	0.5
4	2005/8/18	木	鳥羽小の件で教育委員会行く	1
5	2005/8/19	金	鳥羽小の件で教育委員会行く	1
6	2005/8/20	土	鳥羽小の件で教育委員会行く	0.5
7	2005/8/23	火	鳥羽小の件で教育委員会行く	0.5
8	2005/8/24	水	★午前中教育委員会で詰問	0.5
9	2005/8/26	金	鳥羽小学校懇話会のデザイン	1
10	2005/8/29	月	★懇話会説明	1
11	2005/8/30	火	★市民へ説明鳥羽小	1
12	2005/9/5	月	鳥羽小市民会議見積	0.5
13	2005/9/7	水	鳥羽小市民会議見積	0.5
14	2005/9/23	金		
15	2005/9/24	土		
16	2005/9/26	月		
17	2005/9/27	火	鳥羽小オリエンテ企画詰めat教委	1
18	2005/9/29	木	★鳥羽小オリエンテ	1
19	2005/10/2	日	ブログメンテナンス	0.3
20	2005/10/3	月	委託料の交渉	0.3
21	2005/10/4	火	鳥羽小委託料の交渉	0.5
22	2005/10/5	水	鳥羽小委託料の交渉、ブログ発信	0.5
23	2005/10/7	金	PM小学校実務WS はまだ	0.5
24	2005/10/8	土	PM鳥羽小資料づくりatパーティ	0.5
25				
26	2005/10/11	火	鳥羽小幹事会	0.5
27	2005/10/12	水	★WS 用地を知ろう	1
28	2005/10/13	木	ブログ発信	0.5
29	2005/10/14	金		
30	2005/10/15	土		
31	2005/10/16	日		
32	2005/10/17	月		
33	2005/10/18	火		
34	2005/10/19	水		
35	2005/10/20	木	ブログ発信	0.5
36	2005/10/21	金	ブログ発信	0.5
37	2005/10/22	土		
38	2005/10/23	日		
39	2005/10/24	月		
40	2005/10/25	火		
41	2005/10/26	水	幹事会、日和山問題奔走	0.7
42	2005/10/27	木		
43	2005/10/28	金	★WS用地を絞ろう	1
44	2005/10/29	土		
45	2005/10/30	日		
46	2005/10/31	月	現地を見ようの打ち合わせデザイン	0.5
47	2005/11/1	火		
48	2005/11/2	水	ブログ発信、連絡、交渉	0.5
49	2005/11/3	木		
50	2005/11/4	金	ブログ訂正	0.2
51	2005/11/5	土		
52	2005/11/6	日		
53	2005/11/7	月	★現地を見てみよう part1開催	0.5

NO	日付	曜日	鳥羽小学校	人工
54	2005/11/8	火		
55	2005/11/9	水	★現地を見てみよう part2開催	0.5
56	2005/11/10	木		
57	2005/11/11	金		
58	2005/11/12	土		
59	2005/11/13	日		
60	2005/11/14	月		
61	2005/11/15	火		
62	2005/11/16	水		
63	2005/11/17	木	幹事会段取り、ニュースレター段取り	0.5
64	2005/11/18	金		
65	2005/11/19	土		
66	2005/11/20	日		
67	2005/11/21	月	鳥羽小相談に来た。対応協議、会議準備	0.8
68	2005/11/22	火	★市民会議	1
69	2005/11/23	水		
70	2005/11/24	木		
71	2005/11/25	金		
72	2005/11/26	土		
73	2005/11/27	日		
74	2005/11/28	月		
75	2005/11/29	火		
76	2005/11/30	水		
77	2005/12/1	木		
78	2005/12/2	金		
79	2005/12/3	土		
80	2005/12/4	日		
81	2005/12/5	月	★史跡のことで県庁に相談	0.7
82	2005/12/6	火	教育委員会で打ち合わせ	0.5
83	2005/12/7	水	★市民会議 埋蔵文化財	1
84	2005/12/8	木	教育委員会で打ち合わせ	0.3
85	2005/12/9	金		
86	2005/12/10	土		
87	2005/12/11	日		
88	2005/12/12	月		
89	2005/12/13	火		
90	2005/12/14	水		
91	2005/12/15	木		
92	2005/12/16	金		
93	2005/12/17	土		
94	2005/12/18	日		
95	2005/12/19	月	教育委員会で打ち合わせ	0.5
96	2005/12/20	火		
97	2005/12/21	水		
98	2005/12/22	木		
99	2005/12/23	金		
100	2005/12/24	土		
101	2005/12/25	日		
102	2005/12/26	月		
103	2005/12/27	火		
104	2005/12/28	水		
105	2005/12/29	木		
106	2005/12/30	金		
107	2005/12/31	土		
108	2006/1/1	日		
109	2006/1/2	月		

NO	日付	曜日	鳥羽小学校	人工
110	2006/1/3	火		
111	2006/1/4	水		
112	2006/1/5	木		
113	2006/1/6	金	★用地提案業者ヒヤリング+幹事会	1
114	2006/1/7	土		
115	2006/1/8	日	文教民生委員会と協議	0.3
116	2006/1/9	月		
117	2006/1/10	火	★市民会議	1
118	2006/1/11	水		
119	2006/1/12	木		
120	2006/1/13	金		
121	2006/1/14	土	NPOの会への報告書	0.5
122	2006/1/15	日		
123	2006/1/16	月	文教民生打ち合わせ+資料	0.5
124	2006/1/17	火		
125	2006/1/18	水		
126	2006/1/19	木		
127	2006/1/20	金	浅野先生Mail打ち合わせ	0.5
128	2006/1/21	土	ブログ発信	0.5
129	2006/1/22	日		
130	2006/1/23	月	教育委員会で打ち合わせ	0.3
131	2006/1/24	火	資料づくり	0.2
132	2006/1/25	水	浅野先生打ち合わせ三重大	0.5
133	2006/1/26	木	★幹事会	0.5
134	2006/1/27	金		
135	2006/1/28	土		
136	2006/1/29	日		
137	2006/1/30	月	資料作成送付	0.5
138	2006/1/31	火	★市民会議	1
139	2006/2/1	水	教育委員会で打ち合わせブログ発信提言書	0.7
140	2006/2/2	木	ブログ発信	0.5
141	2006/2/3	金	ブログ発信	0.5
142	2006/2/4	土	ブログ発信	0.5
143	2006/2/5	日	ブログ発信	0.5
144	2006/2/6	月	教育委員会で検討方針打ち合わせ	0.5
145	2006/2/7	火		
146	2006/2/8	水		
147	2006/2/9	木		
148	2006/2/10	金		
149	2006/2/11	土		
150	2006/2/12	日		
151	2006/2/13	月		
152	2006/2/14	火		
153	2006/2/15	水	ブログのメンテナンス	0.5
154	2006/2/16	木	教育委員会打ち合わせ	0.5
155	2006/2/17	金		
156	2006/2/18	土	資料作成、日誌、事務	0.5
157	2006/2/19	日		
158	2006/2/20	月		
159	2006/2/21	火	浅野先生打ち合わせ三重大	0.5
160	2006/2/22	水		
161	2006/2/23	木		
162	2006/2/24	金		
163	2006/2/25	土		
164	2006/2/26	日		
165	2006/2/27	月		

■NPO と行政とはパートナーシップ協定こそふさわしい

2005/10/5

NPO 法人伊勢志摩 NPO ネットワークの会 会長 中村 元
協働推進部会 部長 川村 透

■本事業を受託するスタンス

本事業においては、鳥羽市の危機的な状況、その切実な市民との信頼関係、協働基盤の危機をかんがみて、ともに「新しい公」を担う行政セクターのパートナーとして、鳥羽市、及び鳥羽市教育委員会との今までの信頼関係をかんがみて、特例として、伊勢志摩 NPO ネットワークの会の受託事業の受託単価から根拠なく半額程度の金額にまで割り引いて本事業を受託することとします。

■本事業受託は特例であり、受託金額を実績とみなさないでください。

鳥羽小学校用地選定懇話会の受託金額 60 万円も、今回と同様に緊急避難的な、市民からみれば「災害復旧」に近い事業であり、ボランティアに提供された資源と協働型意思決定に関する先端的なノウハウを駆使したことを考えれば優に倍以上の経費はかかることを、公共を担うセクターとして「資源」を提供しているのものであるということをご理解いただきたいと思います。NPO も生きているのです。

■NPO と行政とはパートナーシップ協定こそふさわしい

現在、NPO と行政とが、ともにパートナーとして問題解決に当たるパートナーシップ契約にあたる仕組みはまだ未整備の状態です。暫定的に「業務委託契約」で代用しているのが現状であることをご理解いただきたいと思います。NPO と行政との契約に関しては、三重県 NPO 室とパートナーシッププロジェクト(NPO)との協働でとりまとめた提言の中に詳しく書かれていますので、「新しい公の時代の行政」として、提言書の内容を十分理解し、鳥羽市に合致した仕組みづくりに、ともに着手していただきたいと思います。本事業は夜明け前の実験事業なのです。

■解 説

本事業は、過渡期における実験的でチャレンジングな、行政、市民、NPO、企業それぞれをかけたえのないパートナーとする「協働事業」であると認識しています。

協働事業とは、それぞれのパートナーが、各々独自の資源を持ち寄り、異なったミッションのもとで独自の活動をしている各セクターが特定の課題を解決するために、目的、プロセス、責任を分担し、互いにプレーヤーとして成果を出すことです。

ただ、現状においては、問題解決に要する資源=資金等は、主に税金の形で行政に集中しているのが現状です。個々の市民は、当事者として、その課題に切実なセクターとして関わり続けるという「時間と意識」の点で責任を負います。企業は企業活動の側面で利潤追求とともに、地域貢献の側面でかかわります。NPO は、ミッションに合致した事業において、そのノウハウを活用し行政の機能を補完します。NPO はボランティアな人的資源、ノウハウ

において、ミッションに合致した特定分野については専門的な力を有しているのです。そして、既存のコンサルタントに「業務委託」する場合と比べて、NPO とパートナーシップ協定を組んだ場合は、そのプロセスと成果が確実に地域の力としていきづいてゆくのです。NPO セクターの正当な評価と、職能に、ご理解をお願いします。

■NPO 法人伊勢志摩 NPO ネットワークの会とは

<http://www.po-npo-n.com/>

NPO 法人伊勢志摩 NPO ネットワークの会 (Powerful=力強くて、Positive=積極的で、Possible=可能性を信じる NPO の NETWORK、これを PONPON と略称する) は、伊勢志摩を NPO のいきづく地域にするために既存の市民団体、市民がスクラムを組み、新たな市民団体や責任ある市民を増やしていき、行政や企業と協働し、自立して快適で活力ある地域を創出する推進力をみんなで創ろうというネットワークである。

PONPON の活動は、事務局運営、広報誌 (伊勢志摩ぼんぼん通信) の発行、HP と ML の運営、主にメンバー対象の支援、研修、定例会などを通じた交流、情報交換、そしてミッションに合う協働事業の受託などである。最近の活動としては「伊勢市市民活動センター (仮称) 検討委員会」を通して提言をまとめ、センター運営のサポートが始まりつつある。「WS 派遣事業」としては、行政職員のための「協働」講座など多数、鈴鹿市主催「みんなをつなぐワークショップ」「NPO が元気な鳥羽をつくるワークショップ」「鳥羽市職員ファシリテーター研修」「鳥羽小学校用地選定懇話会コーディネート」、「鳥羽市まちづくり提言市民会議の市民ものさしを活用した協働型ビジョン合意システムに関するノウハウの緊急・無償提供」など。

2005 年は、伊勢志摩地域の協働基盤整備を重点事業として、危機的状況にある鳥羽市のサポートを重点的に行い、同時に、いせ市民活動センターを拠点に、伊勢市職員有志との自主的な勉強会の企画をサポートし、随時政策提言を行なっている。また広域で防災力を up するための仕組みを生み出す「仕掛け」づくりのため、ゆるやかなネットワークの芽を育てる活動に着手し、三重県においては、新しい時代の協働型公共事業の仕組みづくりとして、みえ「社会資本整備協働条例」制定研究会委員として、本年度は三重大学の浅野先生を座長として、実務としてのガイドラインづくりに参画している。(住民参画室)

別添参考論文)

■NPO のいきづくまちを目指して～協働の現場から

<http://www.po-npo-n.com/NPOreport/repo-sukeru.html>

寄稿 2004 夏季「地域政策・あすの三重」(企画編集 三重県 政策開発研修センター)